

令和4年度
長井市民アンケート調査
【結果報告書】

長井市総合政策課

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の内容	1
	(3) 回収結果	1
	(4) 報告書の見方	1
2	回答者の属性	2
3	調査の結果	7
	(1) 定住意向について	7
	(2) 「幸せ」について	12
	(3) 「地域活動への参加」について	29
	(4) 市の施策（取り組み）に対する満足度・重要度	33
	(5) 市の広報について	38
	(6) 農産物振興、国産国消・地産地消、地域農業について	45
	(7) コミュニティセンターを拠点とした地域づくりについて	53
	(8) 文化について	60

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 25 年度に策定した「長井市第五次総合計画」の進行状況を把握するとともに、過去の市民アンケート調査との比較を行うことで、現在抱える問題や課題を洗い出し、今後の策定の企画立案及び執行のための基礎資料とすることを目的としたものです。

(2) 調査の内容

- ① 調査対象：長井市在住で 20 歳以上の市民
- ② 抽出方法：無作為抽出
- ③ 対象者数：1,000 人
- ④ 調査方法：配布－郵送
回収－郵送回答（無記名回答）又は「やまがた e 申請」を利用したインターネットによる回答
- ⑤ 調査期間：令和 4 年 7 月 1 日（金）～7 月 29 日（金）

(3) 回収結果

- ① 回収数：郵送 327 票・インターネット 73 票（計 400 票）
- ② 回収率：40.0%

※ 数値は全回答者数の内「不明」を除いた有効回答数

※ 標本誤差（考慮すべき統計上の誤差）は下表のとおり。

回答比率	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
誤 差	±2.25%	±3.00%	±3.43%	±3.67%	±3.75%

回答者数（標本数）が少ないほど、また、回答比率が低いほど誤差が大きくなる。例えば、ある設問で A と回答した人の比率が 60% だった場合、誤差は ±3.67% のため、母集団における A の回答比率は 56.33%～63.67% の間とみることができる。

(4) 報告書の見方

- ① 図表中の n（number of cases の略）は、質問に対する回答者数であり、回答比率における 100.0% に相当します。
- ② 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0% にならないことがあります。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、各設問の有効回収数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100.0% を超えます。
- ③ 集計表・グラフ及び文章中では、選択肢の語句を一部簡略化して表している場合があります。
- ④ 集計表の数値について、n の列は実数（件）、他の列は割合（%）を表しています。

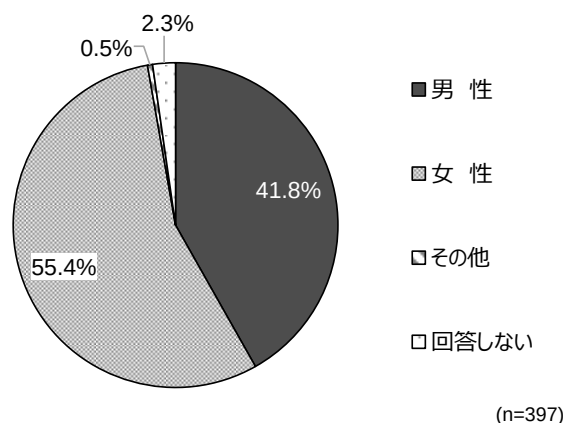
2 回答者の属性

(1) 性別

「女性」(55.4%)が「男性」(41.8%)を13.6ポイント上回っています。

図表 1. 性別

回答項目	回答者数	構成比
男 性	166	41.8%
女 性	220	55.4%
その他	2	0.5%
回答しない	9	2.3%
不 明	3	
合 計	400	100.0%

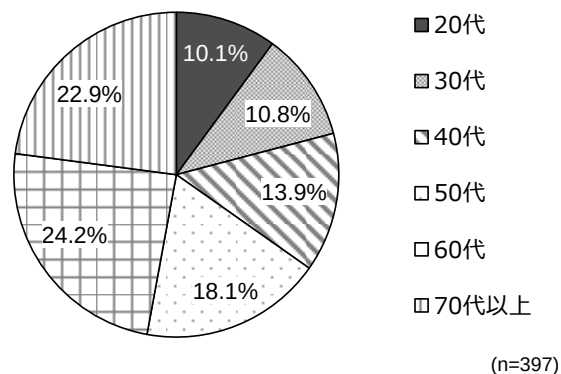


(2) 年齢

「60代」(24.2%)が最も高く、「70代以上」(22.9%)、「50代」(18.1%)と続きます。

図表 2. 年齢

回答項目	回答者数	構成比
20代	40	10.1%
30代	43	10.8%
40代	55	13.9%
50代	72	18.1%
60代	96	24.2%
70代以上	91	22.9%
不 明	3	
合 計	400	100.0%

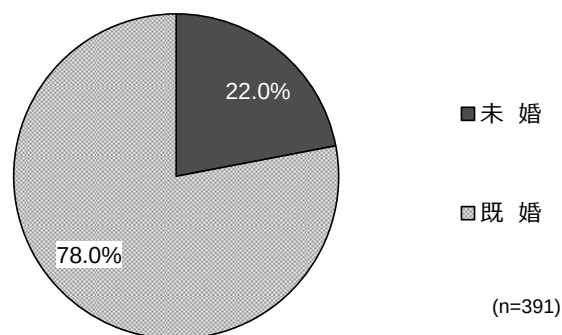


(3) 婚姻

「既婚」が78.0%と高く、8割程度を占めています。「未婚」は22.0%です。

図表 3. 婚姻

回答項目	回答者数	構成比
未 婚	86	22.0%
既 婚	305	78.0%
不 明	9	
合 計	400	100.0%

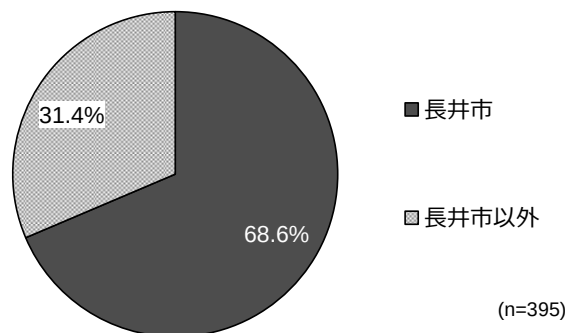


(4) 出身地

「長井市」が68.6%と高く、7割程度を占めています。「長井市以外」は31.4%です。

図表 4. 出身地

回答項目	回答者数	構成比
長井市	271	68.6%
長井市以外	124	31.4%
不 明	5	
合 計	400	100.0%

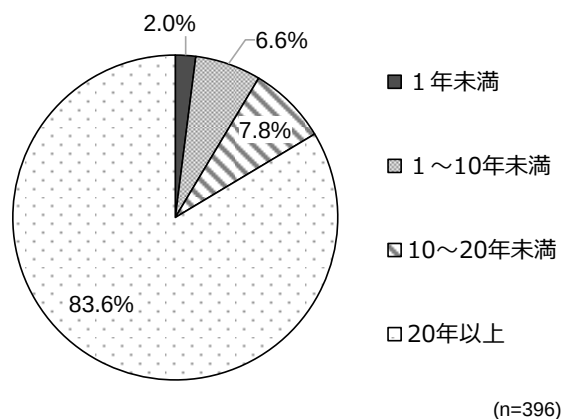


(5) 居住年数

「20年以上」が83.6%と高く、8割程度を占めています。

図表 5. 居住年数

回答項目	回答者数	構成比
1年未満	8	2.0%
1～10年未満	26	6.6%
10～20年未満	31	7.8%
20年以上	331	83.6%
不 明	4	
合 計	400	100.0%

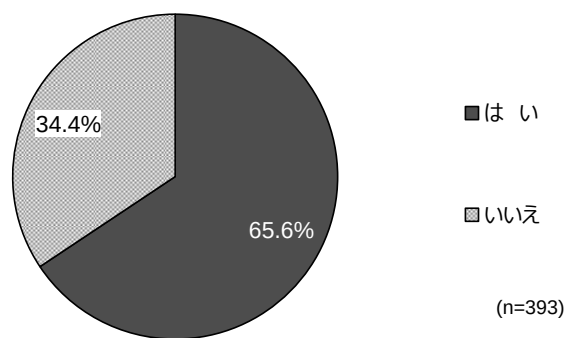


(6) 市外居住経験

「はい」と回答した人の割合が65.6%と高く、7割程度を占めています。「いいえ」と回答した人の割合は34.4%です。

図表 6. 市外居住経験

回答項目	回答者数	構成比
は い	258	65.6%
いいえ	135	34.4%
不 明	7	
合 計	400	100.0%

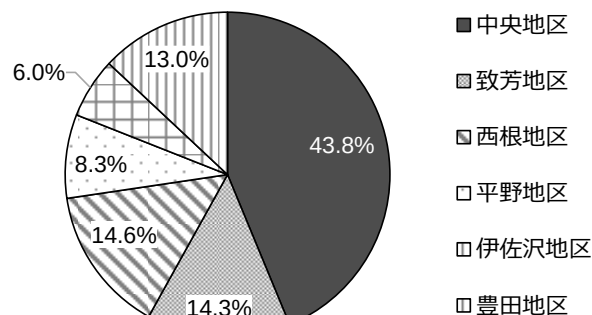


(7) 居住地区

「中央地区」(43.8%) が最も高く、「西根地区」(14.6%)、「致芳地区」(14.3%) と続きます。

図表 7. 居住地区

回答項目	回答者数	構成比
中央地区	168	43.8%
致芳地区	55	14.3%
西根地区	56	14.6%
平野地区	32	8.3%
伊佐沢地区	23	6.0%
豊田地区	50	13.0%
不 明	16	
合 計	400	100.0%



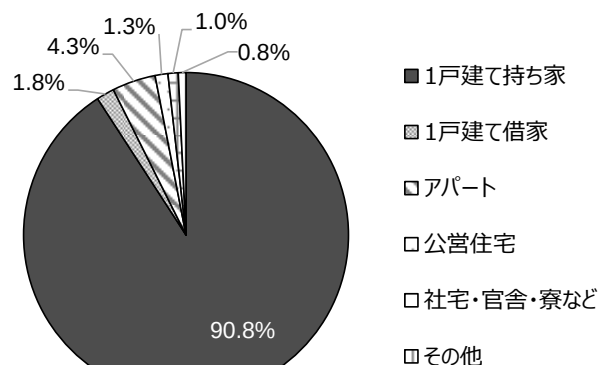
(n=384)

(8) 住居形態

「1戸建て持ち家」が90.8%と高く、9割程度を占めています。

図表 8. 住居形態

回答項目	回答者数	構成比
1戸建て持ち家	357	90.8%
1戸建て借家	7	1.8%
アパート	17	4.3%
公営住宅	5	1.3%
社宅・官舎・寮など	4	1.0%
その他	3	0.8%
不 明	7	
合 計	400	100.0%



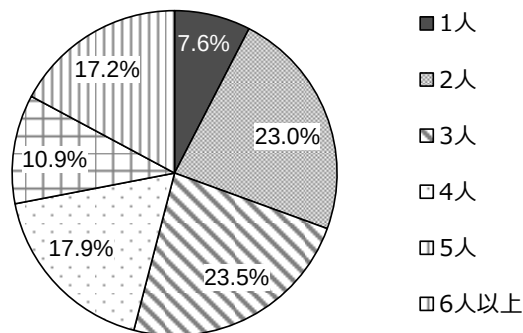
(n=393)

(9) 世帯人数

「3人」(23.5%) が最も高く、「2人」(23.0%)、「4人」(17.9%) と続きます。

図表 9. 世帯人数

回答項目	回答者数	構成比
1人	30	7.6%
2人	91	23.0%
3人	93	23.5%
4人	71	17.9%
5人	43	10.9%
6人以上	68	17.2%
不 明	4	
合 計	400	100.0%



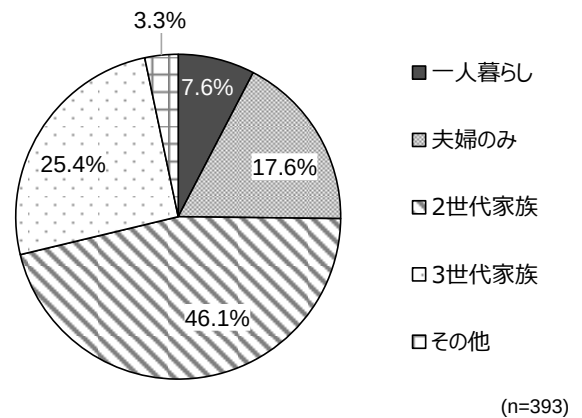
(n=396)

（１０） 世帯構成

「２世代家族」（46.1％）が最も高く、５割程度を占めています。以下、「３世代家族」（25.4％）、「夫婦のみ」（17.6％）と続きます。

図表 10. 世帯構成

回答項目	回答者数	構成比
一人暮らし	30	7.6%
夫婦のみ	69	17.6%
２世代家族	181	46.1%
３世代家族	100	25.4%
その他	13	3.3%
不 明	7	
合 計	400	100.0%

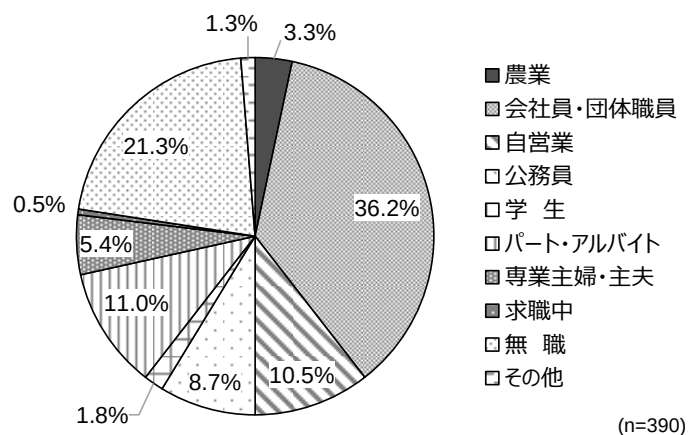


（１１） 職業

「会社員・団体職員」（36.2％）が最も高く、「無職」（21.3％）、「パート・アルバイト」（11.0％）と続きます。

図表 11. 職業

回答項目	回答者数	構成比
農業	13	3.3%
会社員・団体職員	141	36.2%
自営業	41	10.5%
公務員	34	8.7%
学 生	7	1.8%
パート・アルバイト	43	11.0%
専業主婦・主夫	21	5.4%
求職中	2	0.5%
無 職	83	21.3%
その他	5	1.3%
不 明	10	
合 計	400	100.0%

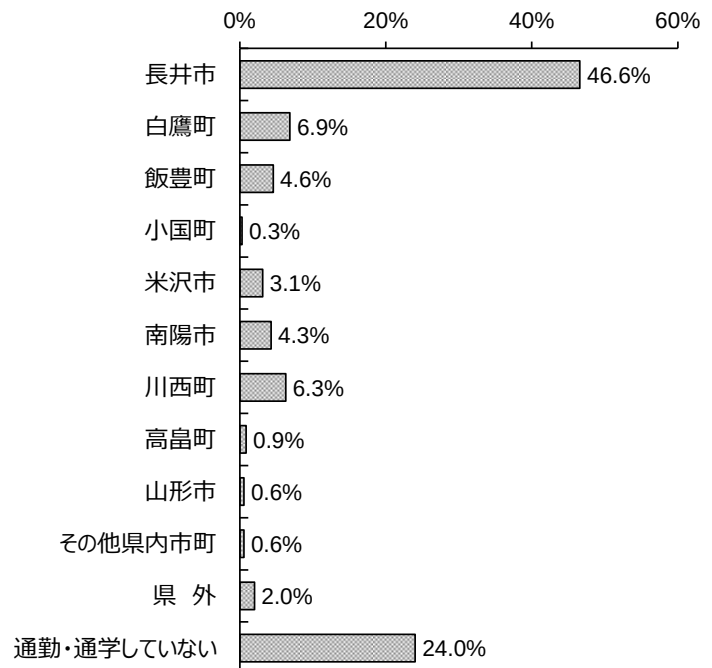


(12) 通勤・通学先

「長井市」(46.6%)が最も高く、「白鷹町」(6.9%)、「川西町」(6.3%)が続きます。「通勤・通学していない」は24.0%です。

図表 12. 通勤・通学先

回答項目	回答者数	構成比
長井市	163	46.6%
白鷹町	24	6.9%
飯豊町	16	4.6%
小国町	1	0.3%
米沢市	11	3.1%
南陽市	15	4.3%
川西町	22	6.3%
高畠町	3	0.9%
山形市	2	0.6%
その他県内市町	2	0.6%
県 外	7	2.0%
通勤・通学していない	84	24.0%
不 明	50	
合 計	400	100.0%



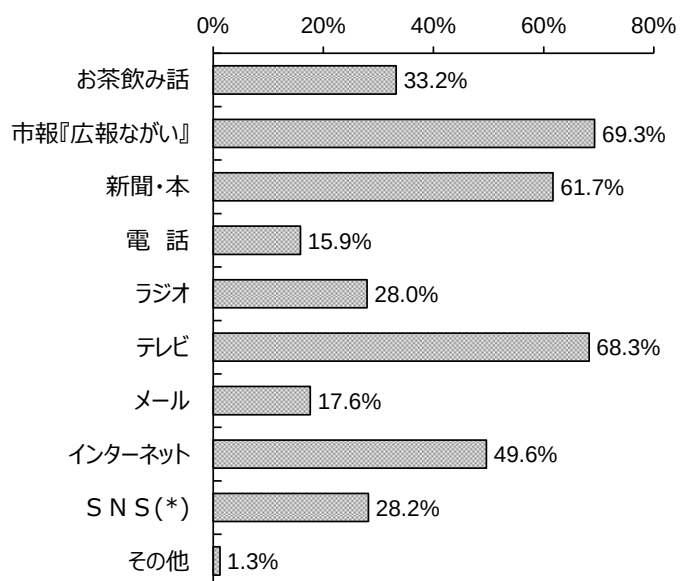
(n=350)

(13) 情報収集手段

「市報『広報ながい』」(69.3%)が最も高く、「テレビ」(68.3%)、「新聞・本」(61.7%)と続きます。

図表 13. 情報収集手段

回答項目	回答者数	構成比
お茶飲み話	132	33.2%
市報『広報ながい』	275	69.3%
新聞・本	245	61.7%
電 話	63	15.9%
ラジオ	111	28.0%
テレビ	271	68.3%
メール	70	17.6%
インターネット	197	49.6%
SNS(*)	112	28.2%
その他	5	1.3%
不 明	3	
合 計	400	



(n=397)

(*)…ソーシャルネットワーキングサービス：ツイッター・フェイスブック等

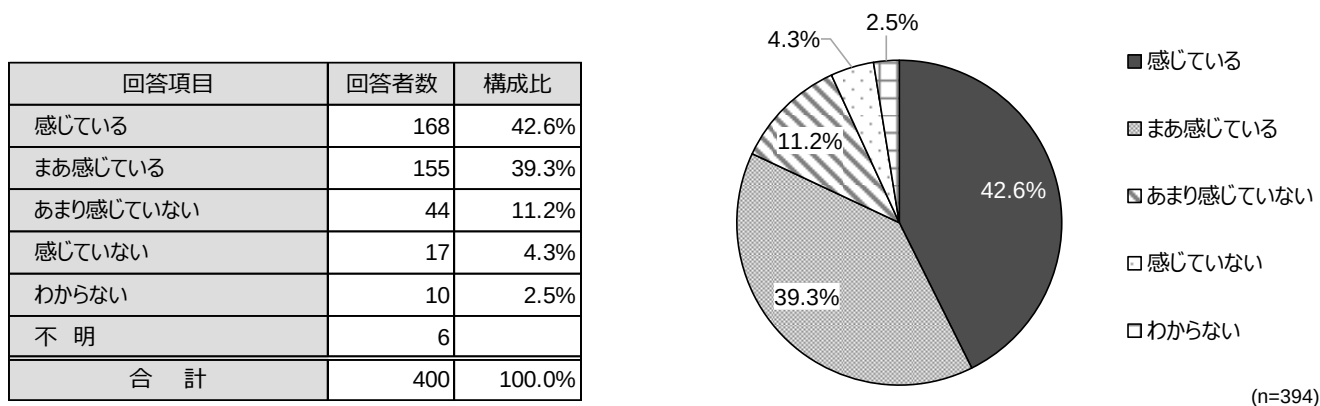
3 調査の結果

(1) 定住意向について

問1. あなたは、長井市に「じぶんのまち」といった愛着、親しみを感じていますか。

回答者全体では「感じている」(42.6%)が最も高く、「まあ感じている」(39.3%)と合わせた《感じている》と回答した人は81.9%と、8割程度を占めています。

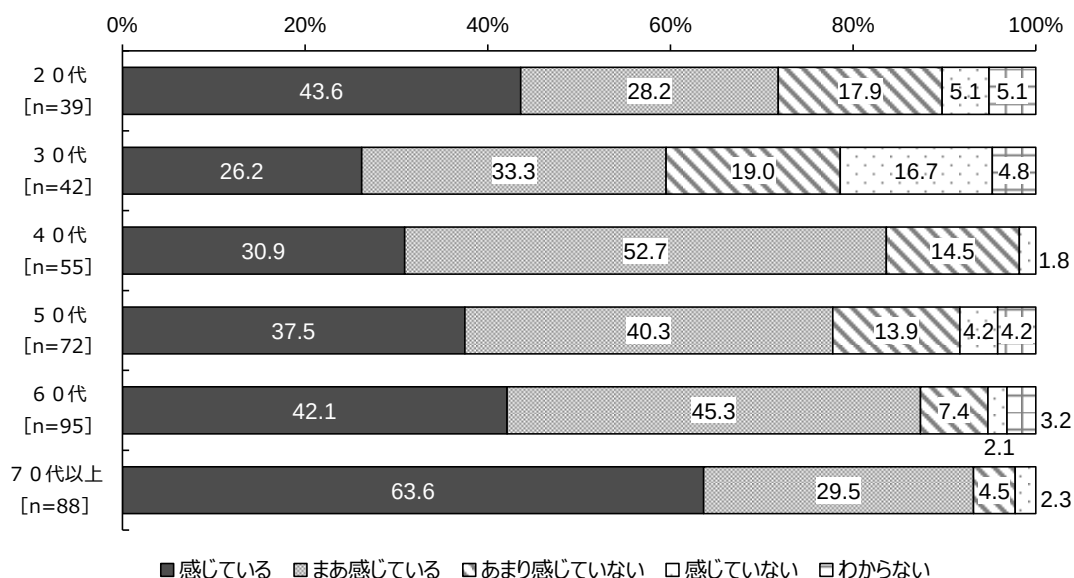
図表 1-1-1. 長井市への愛着



【年齢別】

年齢別にみると、《感じている》と回答した人の割合は、概ね年代が上がるにしたがって高くなり、70代以上では9割程度(93.1%)を占めています。一方、「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた《感じていない》と回答した人の割合は、30代で4割程度(35.7%)と、他の年代に比べて高くなっています。

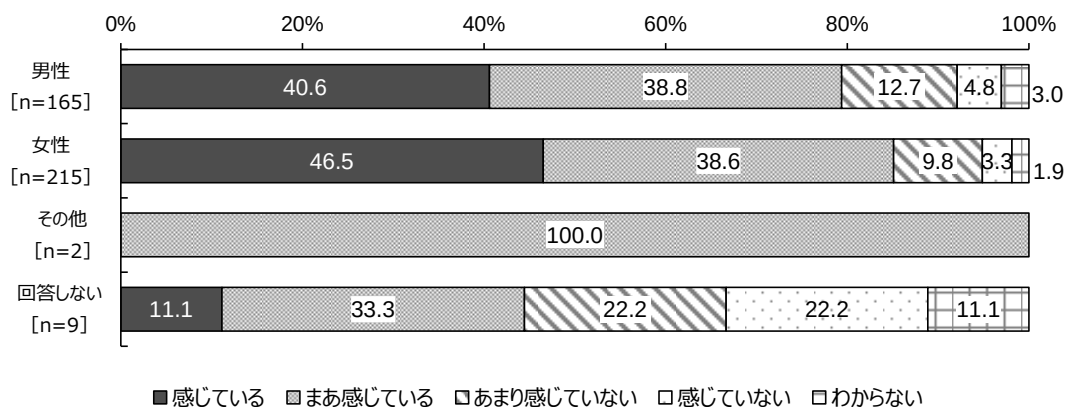
図表 1-1-2. 長井市への愛着（年齢別）



【性別】

性別にみると、《感じている》と回答した人の割合は、女性（46.5%）が男性（40.6%）を5.9ポイント上回っています。

図表 1-1-3. 長井市への愛着（性別）

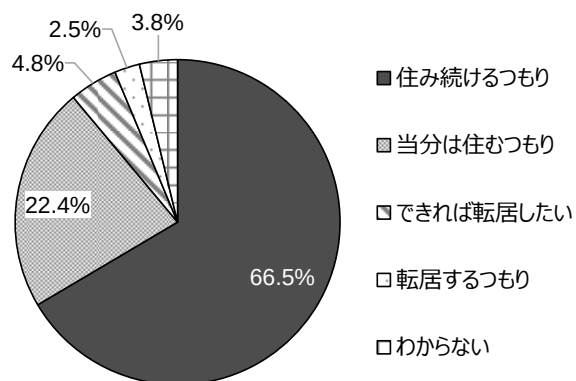


問 2. あなたは、これからもずっと長井市にお住まいになりますか。

回答者全体では「住み続けるつもり」（66.5%）が最も高く、「当分は住むつもり」（22.4%）と合わせると、9割程度（88.9%）が長井市に定住する意向を示していることがわかります。

図表 1-2-1. これからの居住意向

回答項目	回答者数	構成比
住み続けるつもり	264	66.5%
当分は住むつもり	89	22.4%
できれば転居したい	19	4.8%
転居するつもり	10	2.5%
わからない	15	3.8%
不 明	3	
合 計	400	100.0%

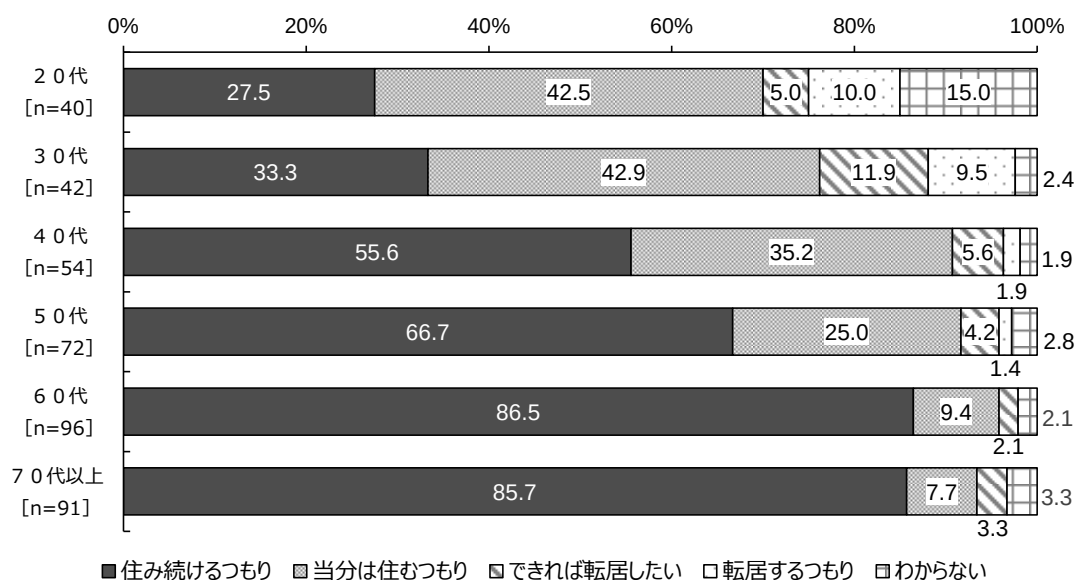


(n=397)

【年齢別】

年齢別にみると、年代が上がるにしたがって「住み続けるつもり」の割合が高くなり、60代以上の高齢層では9割程度を占めています。一方、20代や30代の若年層では、「転居するつもり」と回答した人の割合が、他の年代に比べてやや高くなっています。

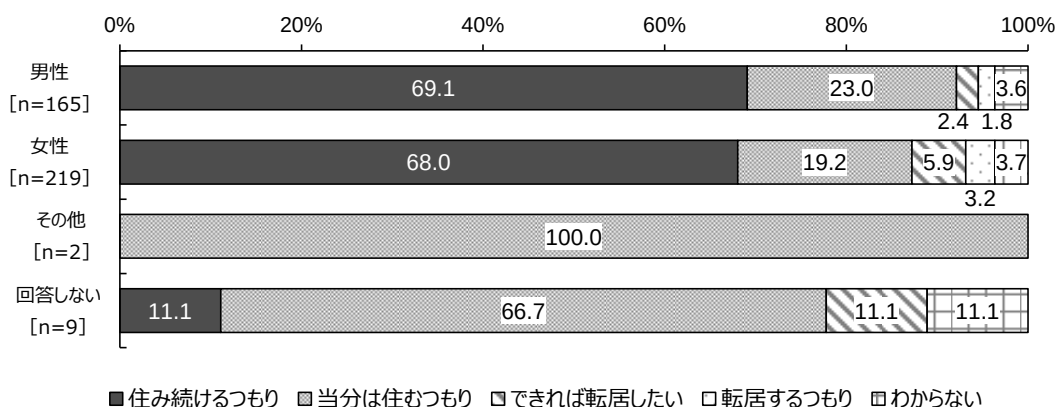
図表 1-2-2. これからの居住意向（年齢別）



【性別】

性別にみると、定住する意向を示している人の割合は、男性（92.1%）が女性（87.2%）を4.9ポイント上回っています。

図表 1-2-3. これからの居住意向（性別）

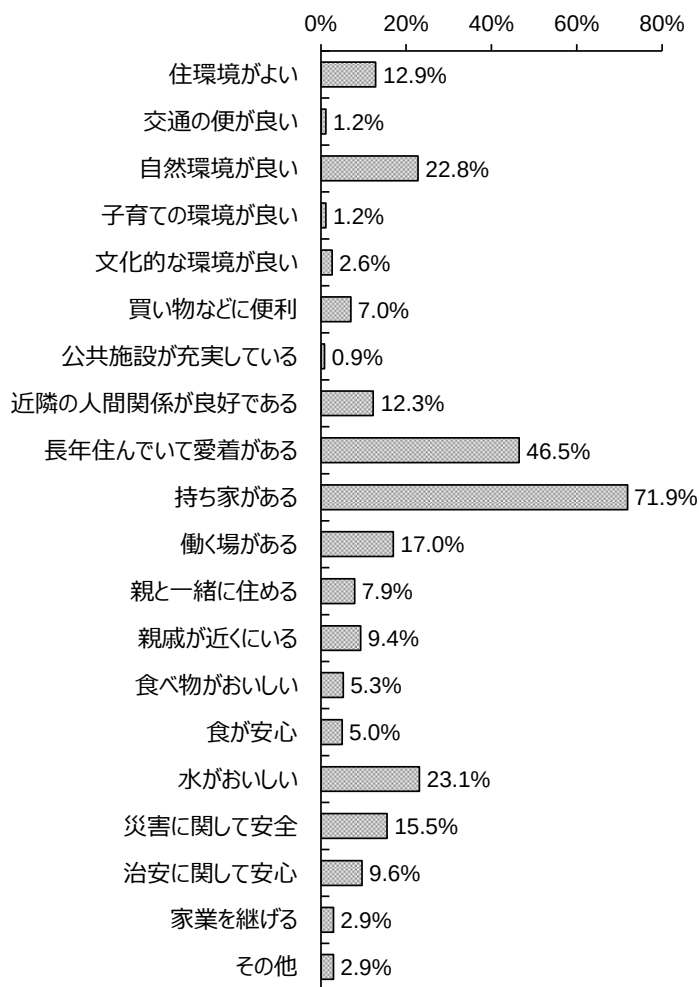


問3. 問2で「1. 住み続けるつもり」、「2. 当分は住むつもり」と回答した方にお伺いします。特にその理由はな
 んですか。（複数回答：3つまで）

定住の意向がある理由としては、「持ち家がある」（71.9%）が最も高く、「長年住んでいて愛着がある」（46.5%）、「水がおいしい」（23.1%）と続きます。

図表 1-3. 居住する理由

回答項目	回答者数	構成比
住環境がよい	44	12.9%
交通の便が良い	4	1.2%
自然環境が良い	78	22.8%
子育ての環境が良い	4	1.2%
文化的な環境が良い	9	2.6%
買い物などに便利	24	7.0%
公共施設が充実している	3	0.9%
近隣の人間関係が良好である	42	12.3%
長年住んでいて愛着がある	159	46.5%
持ち家がある	246	71.9%
働く場がある	58	17.0%
親と一緒に住める	27	7.9%
親戚が近くにいる	32	9.4%
食べ物がおいしい	18	5.3%
食が安心	17	5.0%
水がおいしい	79	23.1%
災害に関して安全	53	15.5%
治安に関して安心	33	9.6%
家業を継げる	10	2.9%
その他	10	2.9%
不 明	11	
合 計	353	



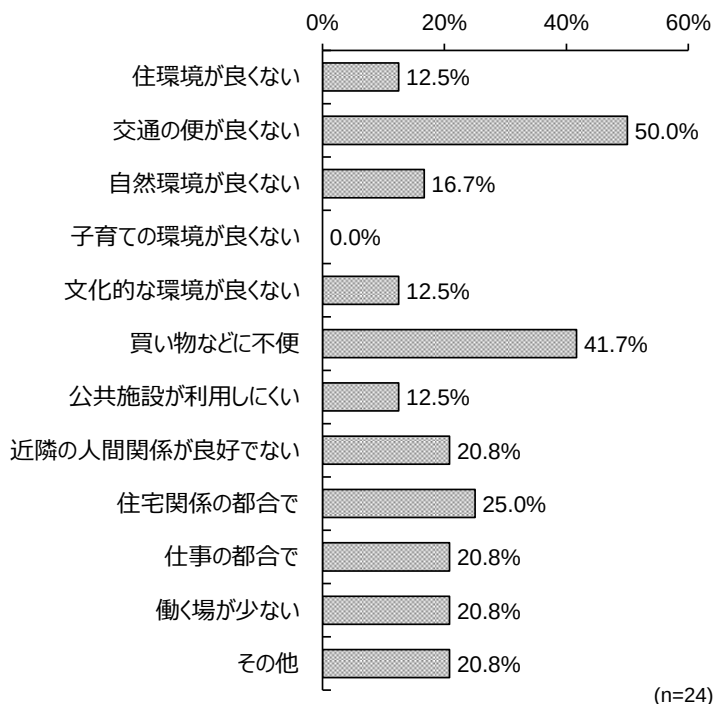
(n=342)

問4. 問2で「3.できれば転居したい」、「4.転居するつもり」と回答した方にお伺いします。特にその理由は何ですか。（複数回答：3つまで）

転居の意向がある理由としては、「交通の便が良くない」（50.0%）が最も高く、「買い物などに不便」（41.7%）、「住宅関係の都合で」（25.0%）と続きます。

図表 1-4. 転居する理由

回答項目	回答者数	構成比
住環境が良くない	3	12.5%
交通の便が良くない	12	50.0%
自然環境が良くない	4	16.7%
子育ての環境が良くない	0	0.0%
文化的な環境が良くない	3	12.5%
買い物などに不便	10	41.7%
公共施設が利用しにくい	3	12.5%
近隣の人間関係が良好でない	5	20.8%
住宅関係の都合で	6	25.0%
仕事の都合で	5	20.8%
働く場が少ない	5	20.8%
その他	5	20.8%
不 明	5	
合 計	29	



(2) 「幸せ」について

「暮らし」「安心・安全」「地域とのつながり」「生きがい」の視点から、長井市で生活していくなかで感じる「幸せ」についてお伺いします。

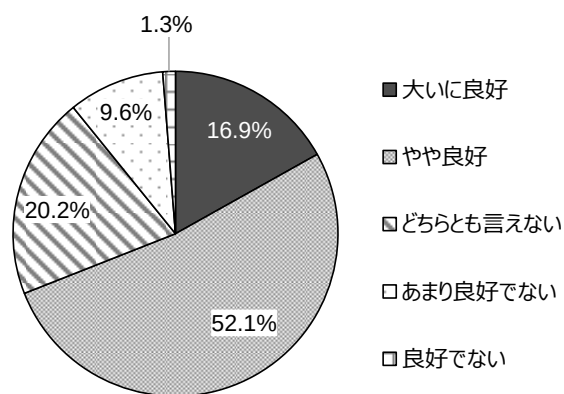
問1. 「暮らし」の視点

(1) あなたは健康を維持できていますか

「やや良好」(52.1%) が最も高く、「大いに良好」(16.9%) を合わせると、7割程度(69.0%)を占めています。

図表 2-1-1. 健康状態

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	67	16.9%
やや良好	207	52.1%
どちらとも言えない	80	20.2%
あまり良好でない	38	9.6%
良好でない	5	1.3%
不 明	3	
合 計	400	100.0%



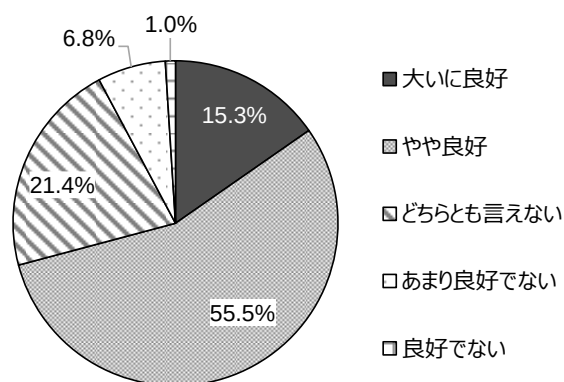
(n=397)

(2) バランスのとれた食生活ができていますか

「やや良好」(55.5%) が最も高く、「大いに良好」(15.3%) を合わせると 7割程度(70.8%)を占めています。

図表 2-1-2. 食生活の状況

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	61	15.3%
やや良好	221	55.5%
どちらとも言えない	85	21.4%
あまり良好でない	27	6.8%
良好でない	4	1.0%
不 明	2	
合 計	400	100.0%

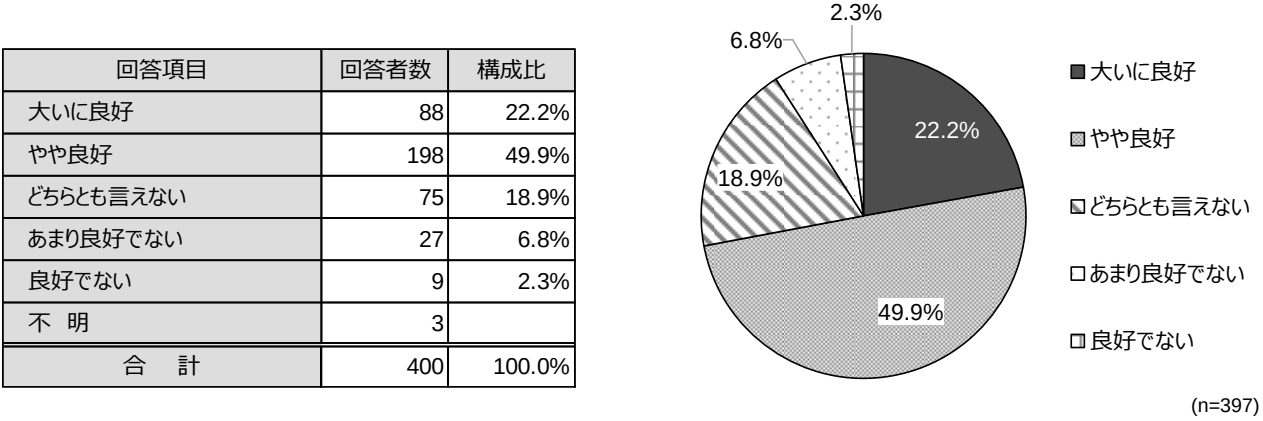


(n=398)

(3) 安心できる住まいになっていますか

「やや良好」(49.9%) が最も高く、「大いに良好」(22.2%) を合わせると 7 割程度 (72.1%) を占めています。

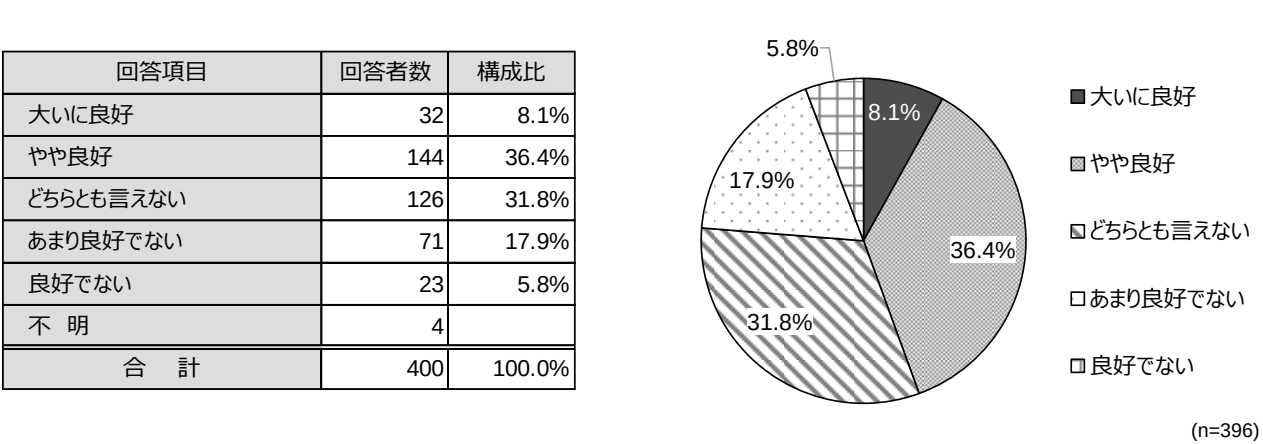
図表 2-1-3. 住まいの状況



(4) ゆとりある生活ができていますか

「やや良好」(36.4%) が最も高く、「大いに良好」(8.1%) を合わせると 4 割程度 (44.5%) を占めています。

図表 2-1-4. 生活のゆとり

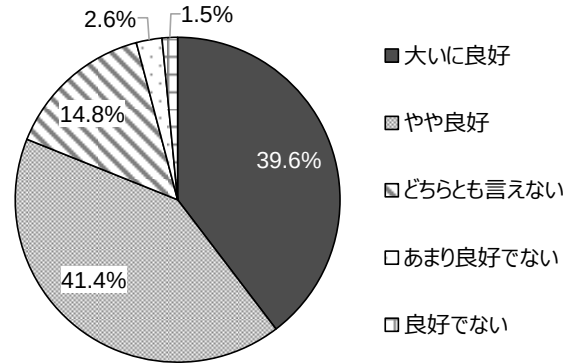


(5) 家族との関係は良好ですか

「やや良好」(41.4%) が最も高く、「大いに良好」(39.6%) を合わせると 8 割程度 (82%) を占めています。

図表 2-1-5. 家族との関係

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	155	39.6%
やや良好	162	41.4%
どちらとも言えない	58	14.8%
あまり良好でない	10	2.6%
良好でない	6	1.5%
不 明	9	
合 計	400	100.0%



(n=391)

これらの 5 項目をまとめてみると、「大いに良好」と「やや良好」を合わせた《良好》の割合は、「(5) 家族との関係は良好ですか」で最も高く、「(3) 安心できる住まいになっていますか」、「(2) バランスのとれた食生活ができていますか」の項目が続きます。一方、「あまり良好でない」と「良好でない」を合わせた《良好でない》の割合は、「(4) ゆとりある生活ができていますか」の項目で最も高くなっています。

図表 2-1-6. 「暮らし」の視点 (まとめ)

	大いに良好	やや良好	どちらとも言えない	あまり良好でない	良好でない
(1) あなたは健康を維持できていますか	16.9%	52.1%	20.2%	9.6%	1.3%
(2) バランスのとれた食生活ができていますか	15.3%	55.5%	21.4%	6.8%	1.0%
(3) 安心できる住まいになっていますか	22.2%	49.9%	18.9%	6.8%	2.3%
(4) ゆとりある生活ができていますか	8.1%	36.4%	31.8%	17.9%	5.8%
(5) 家族との関係は良好ですか	39.6%	41.4%	14.8%	2.6%	1.5%

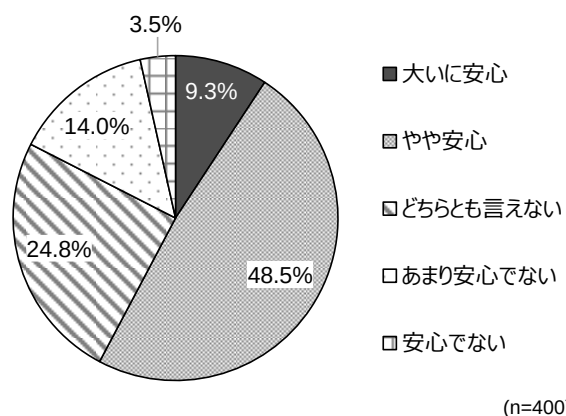
問 2. 「安心・安全」の視点

(1) 自然災害（地震や水害など）についてどう思いますか

「やや安心」(48.5%) が最も高く、「大いに安心」(9.3%) を合わせると 6 割程度 (57.8%) を占めています。

図表 2-2-1. 自然災害

回答項目	回答者数	構成比
大いに安心	37	9.3%
やや安心	194	48.5%
どちらとも言えない	99	24.8%
あまり安心でない	56	14.0%
安心でない	14	3.5%
不 明	0	
合 計	400	100.0%

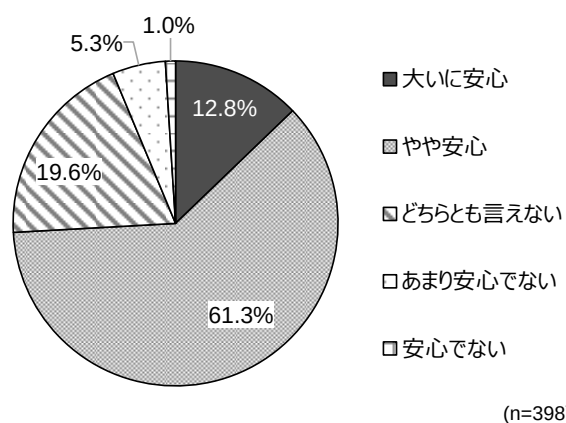


(2) 治安や交通安全についてどう思いますか

「やや安心」(61.3%) が最も高く、「大いに安心」(12.8%) を合わせると 7 割程度 (74.1%) を占めています。

図表 2-2-2. 治安・交通安全

回答項目	回答者数	構成比
大いに安心	51	12.8%
やや安心	244	61.3%
どちらとも言えない	78	19.6%
あまり安心でない	21	5.3%
安心でない	4	1.0%
不 明	2	
合 計	400	100.0%

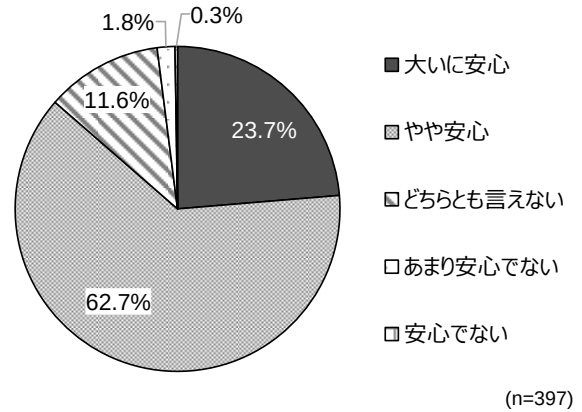


(3) 食の安全についてどう思いますか

「やや安心」(62.7%) が最も高く、「大いに安心」(23.7%) を合わせると 9 割程度 (86.4%) を占めています。

図表 2-2-3. 食の安全

回答項目	回答者数	構成比
大いに安心	94	23.7%
やや安心	249	62.7%
どちらとも言えない	46	11.6%
あまり安心でない	7	1.8%
安心でない	1	0.3%
不 明	3	
合 計	400	100.0%

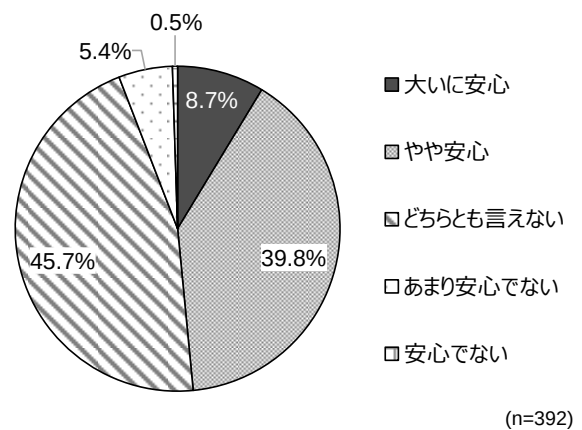


(4) 子育て環境についてどう思いますか

「どちらとも言えない」(45.7%) が最も高く、「やや安心」(39.8%) と「大いに安心」(8.7%) を合わせると 5 割程度 (48.5%) を占めています。

図表 2-2-4. 子育て環境

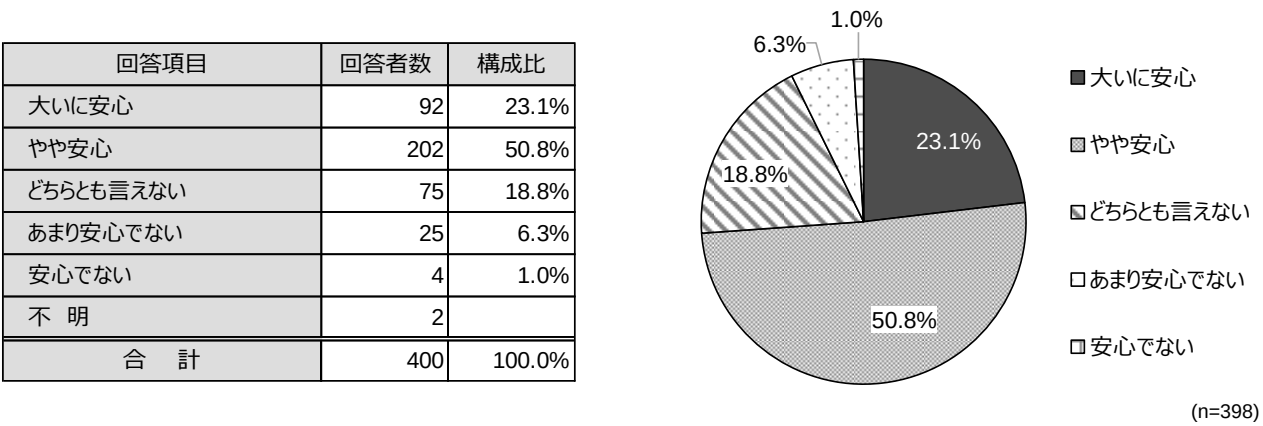
回答項目	回答者数	構成比
大いに安心	34	8.7%
やや安心	156	39.8%
どちらとも言えない	179	45.7%
あまり安心でない	21	5.4%
安心でない	2	0.5%
不 明	8	
合 計	400	100.0%



(5) 騒音や大気汚染など、生活環境についてどう思いますか

「やや安心」(50.8%) が最も高く、「大いに安心」(23.1%) を合わせると 7 割程度 (73.9%) を占めています。

図表 2-2-5. 生活環境



これらの 5 項目をまとめてみると、「大いに安心」と「安心」を合わせた《安心》の割合は、「(3) 食の安全についてどう思いますか」で最も高く、「(2) 治安や交通安全についてどう思いますか」、「(5) 騒音や大気汚染など、生活環境についてどう思いますか」の項目が続きます。一方、「あまり安心でない」と「安心でない」を合わせた《安心でない》の割合は、「(1) 自然災害（地震や水害など）についてどう思いますか」の項目で最も高くなっています。

図表 2-2-6. 「安心・安全」の視点（まとめ）

	大いに安心	やや安心	どちらとも言えない	あまり安心でない	安心でない
(1)自然災害（地震や水害など）についてどう 思いますか	9.3%	48.5%	24.8%	14.0%	3.5%
(2)治安や交通安全についてどう思いますか	12.8%	61.3%	19.6%	5.3%	1.0%
(3)食の安全についてどう思いますか	23.7%	62.7%	11.6%	1.8%	0.3%
(4)子育て環境についてどう思いますか	8.7%	39.8%	45.7%	5.4%	0.5%
(5)騒音や大気汚染など、生活環境について どう思いますか	23.1%	50.8%	18.8%	6.3%	1.0%

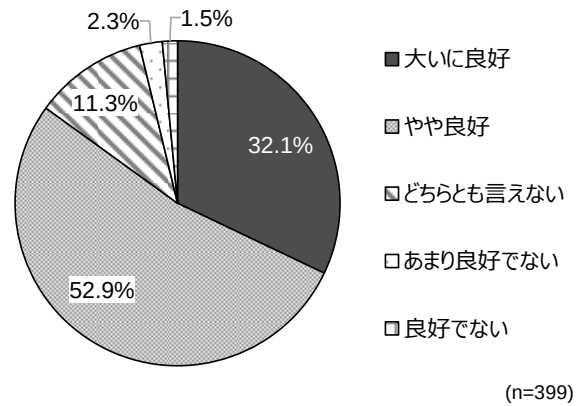
問 3. 「地域とのつながり」の視点

(1) 近所の人とあいさつや話ができますか

「やや良好」(52.9%) が最も高く、「大いに良好」(32.1%) を合わせると 9 割程度 (85.0%) を占めています。

図表 2-3-1. 近所の人とのあいさつ・話

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	128	32.1%
やや良好	211	52.9%
どちらとも言えない	45	11.3%
あまり良好でない	9	2.3%
良好でない	6	1.5%
不 明	1	
合 計	400	100.0%

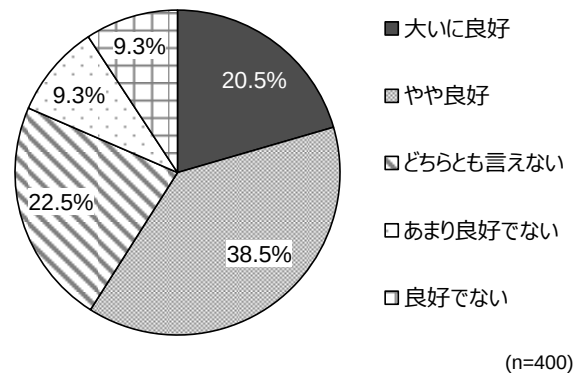


(2) 地域の行事や活動に参加していますか

「やや良好」(38.5%) が最も高く、「大いに良好」(20.5%) を合わせると 6 割程度 (59.0%) を占めています。

図表 2-3-2. 地域行事・活動

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	82	20.5%
やや良好	154	38.5%
どちらとも言えない	90	22.5%
あまり良好でない	37	9.3%
良好でない	37	9.3%
不 明	0	
合 計	400	100.0%

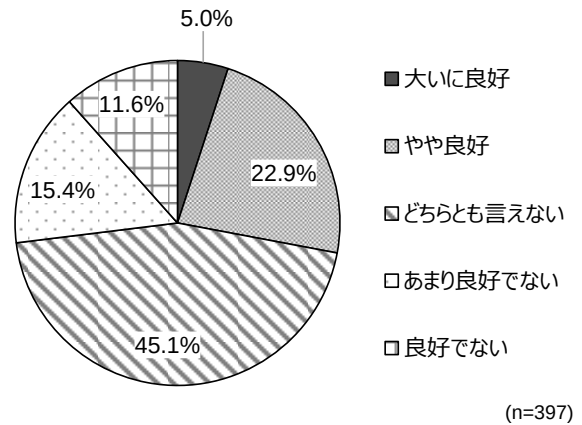


(3) 地域に憩いの場はありますか

「どちらとも言えない」が45.1%と約半数を占めています。以下、「やや良好」(22.9%)、「あまり良好でない」(15.4%)と続き、回答が分かれています。

図表 2-3-3. 地域の憩いの場

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	20	5.0%
やや良好	91	22.9%
どちらとも言えない	179	45.1%
あまり良好でない	61	15.4%
良好でない	46	11.6%
不 明	3	
合 計	400	100.0%

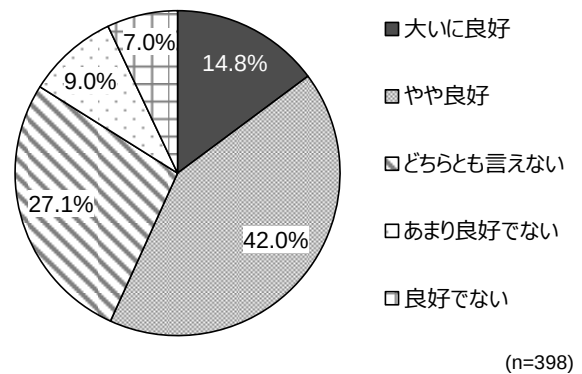


(4) いざという時、住んでいる地域に頼れる人はいますか

「やや良好」(42.0%)が最も高く、「大いに良好」(14.8%)を合わせると6割程度(56.8%)を占めています。

図表 2-3-4. 居住地域の頼れる人

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	59	14.8%
やや良好	167	42.0%
どちらとも言えない	108	27.1%
あまり良好でない	36	9.0%
良好でない	28	7.0%
不 明	2	
合 計	400	100.0%

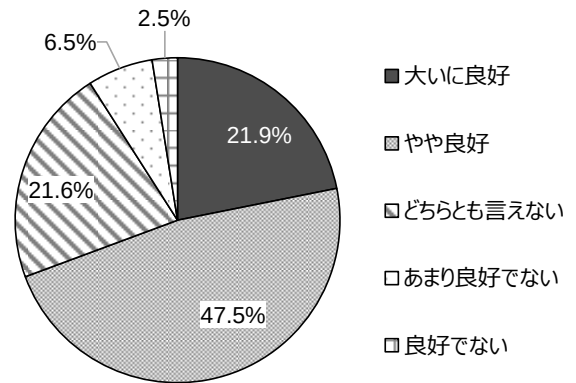


(5) 住んでいる地域に愛着を感じていますか

「やや良好」(47.5%) が最も高く、「大いに良好」(21.9%) を合わせると 7 割程度 (69.4%) を占めています。

図表 2-3-5. 居住地域への愛着

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	87	21.9%
やや良好	189	47.5%
どちらとも言えない	86	21.6%
あまり良好でない	26	6.5%
良好でない	10	2.5%
不 明	2	
合 計	400	100.0%



(n=398)

これらの 5 項目をまとめてみると、「大いに良好」と「やや良好」を合わせた《良好》の割合は、「(1) 近所の人とあいさつや話ができていますか」で最も高く、「(5) 住んでいる地域に愛着を感じていますか」、「(2) 地域の行事や活動に参加していますか」の項目が続きます。一方、「良好でない」と「あまり良好でない」を合わせた《良好でない》の割合は、「(3) 地域に憩いの場はありますか」の項目で最も高くなっています。

図表 2-3-6. 「地域とのつながり」の視点 (まとめ)

	大いに良好	やや良好	どちらとも言えない	あまり良好でない	良好でない
(1) 近所の人とあいさつや話ができていますか	32.1%	52.9%	11.3%	2.3%	1.5%
(2) 地域の行事や活動に参加していますか	20.5%	38.5%	22.5%	9.3%	9.3%
(3) 地域に憩いの場はありますか	5.0%	22.9%	45.1%	15.4%	11.6%
(4) いざという時、住んでいる地域に頼れる人はいますか	14.8%	42.0%	27.1%	9.0%	7.0%
(5) 住んでいる地域に愛着を感じていますか	21.9%	47.5%	21.6%	6.5%	2.5%

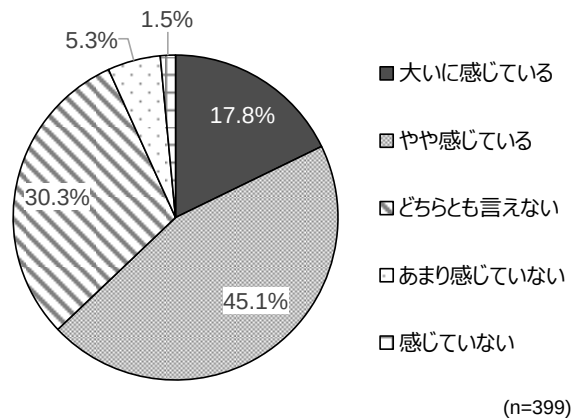
問4.「生きがい」の視点

(1) 地域や友人、家族等から頼りにされていると感じていますか

「やや感じている」(45.1%) が最も高く、「大いに感じている」(17.8%) を合わせると 6 割程度 (62.9%) を占めています。

図表 2-4-1. 身近な人から頼りにされていると感じているか

回答項目	回答者数	構成比
大いに感じている	71	17.8%
やや感じている	180	45.1%
どちらとも言えない	121	30.3%
あまり感じていない	21	5.3%
感じていない	6	1.5%
不 明	1	
合 計	400	100.0%

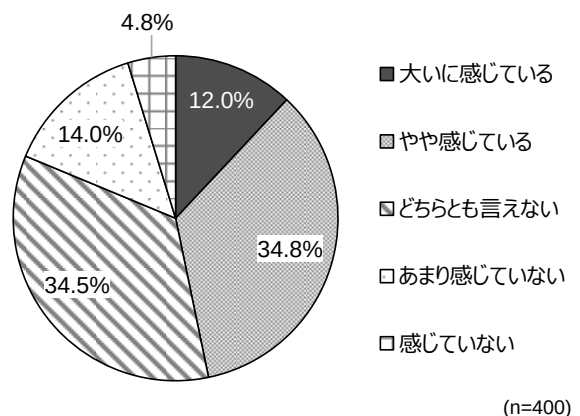


(2) 自分が活躍する場があると感じていますか

「やや感じている」(34.8%) が最も高く、「大いに感じている」(12.0%) を合わせると 5 割程度 (46.8%) を占めています。

図表 2-4-2. 活躍の場があると感じているか

回答項目	回答者数	構成比
大いに感じている	48	12.0%
やや感じている	139	34.8%
どちらとも言えない	138	34.5%
あまり感じていない	56	14.0%
感じていない	19	4.8%
不 明	0	
合 計	400	100.0%

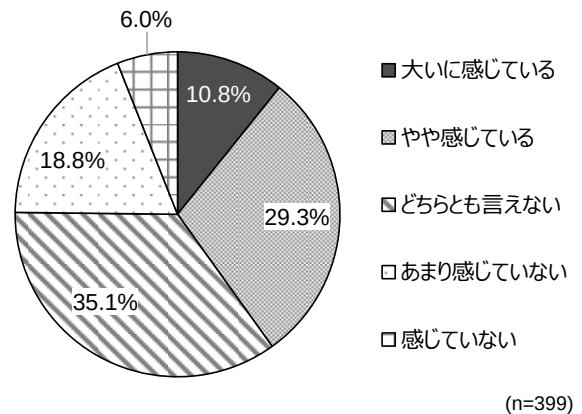


(3) 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか

どちらとも言えない」（35.1%）が最も高く、「やや感じている」（29.3%）と「大いに感じている」（10.8%）を合わせると4割程度（40.1%）を占めています。

図表 2-4-3. 社会貢献できていると感じているか

回答項目	回答者数	構成比
大いに感じている	43	10.8%
やや感じている	117	29.3%
どちらとも言えない	140	35.1%
あまり感じていない	75	18.8%
感じていない	24	6.0%
不 明	1	
合 計	400	100.0%

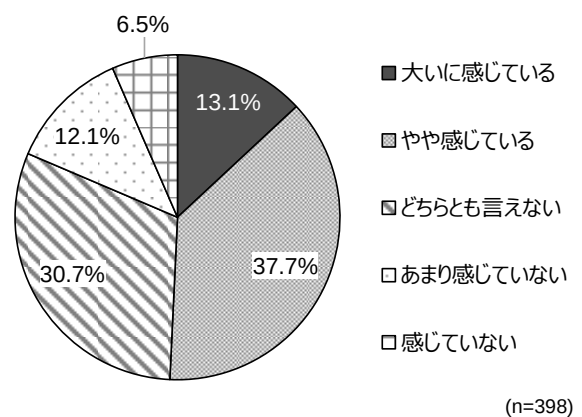


(4) 余暇は充実していると感じていますか

「やや感じている」（37.7%）が最も高く、「大いに感じている」（13.1%）を合わせると5割程度（50.8%）を占めています。

図表 2-4-4. 余暇の充実を感じているか

回答項目	回答者数	構成比
大いに感じている	52	13.1%
やや感じている	150	37.7%
どちらとも言えない	122	30.7%
あまり感じていない	48	12.1%
感じていない	26	6.5%
不 明	2	
合 計	400	100.0%

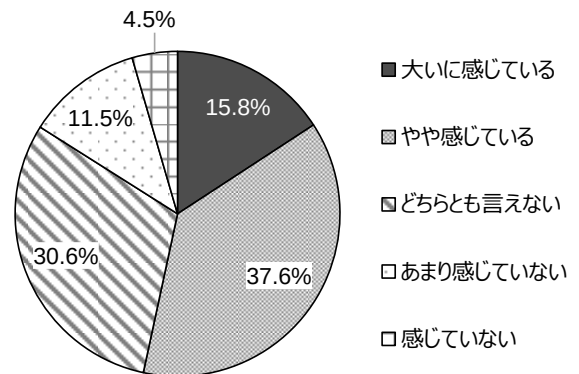


(5) 生きがいがあると感じていますか

「やや感じている」(37.6%) が最も高く、「大いに感じている」(15.8%) を合わせると 5 割程度 (53.4%) を占めています。

図表 2-4-5. 生きがいを感じているか

回答項目	回答者数	構成比
大いに感じている	63	15.8%
やや感じている	150	37.6%
どちらとも言えない	122	30.6%
あまり感じていない	46	11.5%
感じていない	18	4.5%
不 明	1	
合 計	400	100.0%



(n=399)

これらの 5 項目をまとめてみると、「大いに感じている」と「感じている」を合わせた《感じている》の割合は「(1) 地域や友人、家族等から頼りにされていると感じていますか」で最も高く、「(5) 生きがいがあると感じていますか」の項目が続きます。一方、「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた《感じていない》の割合は、「(3) 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか」で最も高く、「(2) 自分が活躍する場があると感じていますか」の項目が続きます。

また、「どちらとも言えない」と回答する人もすべての項目で 3 割程度と、回答が分かれる傾向がありました。

図表 2-4-6. 「生きがい」の視点（まとめ）

	大いに感じている	やや感じている	どちらとも言えない	あまり感じていない	感じていない
(1) 地域や友人、家族等から頼りにされていると感じていますか	17.8%	45.1%	30.3%	5.3%	1.5%
(2) 自分が活躍する場があると感じていますか	12.0%	34.8%	34.5%	14.0%	4.8%
(3) 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか	10.8%	29.3%	35.1%	18.8%	6.0%
(4) 余暇は充実していると感じていますか	13.1%	37.7%	30.7%	12.1%	6.5%
(5) 生きがいがあると感じていますか	15.8%	37.6%	30.6%	11.5%	4.5%

問 5. 「暮らし」「安心・安全」「地域とのつながり」「生きがい」について、あなたが特に心配していることや、心がけていることがありましたらご記入ください。

「暮らし」「安心・安全」「地域とのつながり」「生きがい」について、心配していることや、心がけていることをたずねたところ、132 件の意見が寄せられました。

主な意見は、次のとおりです。

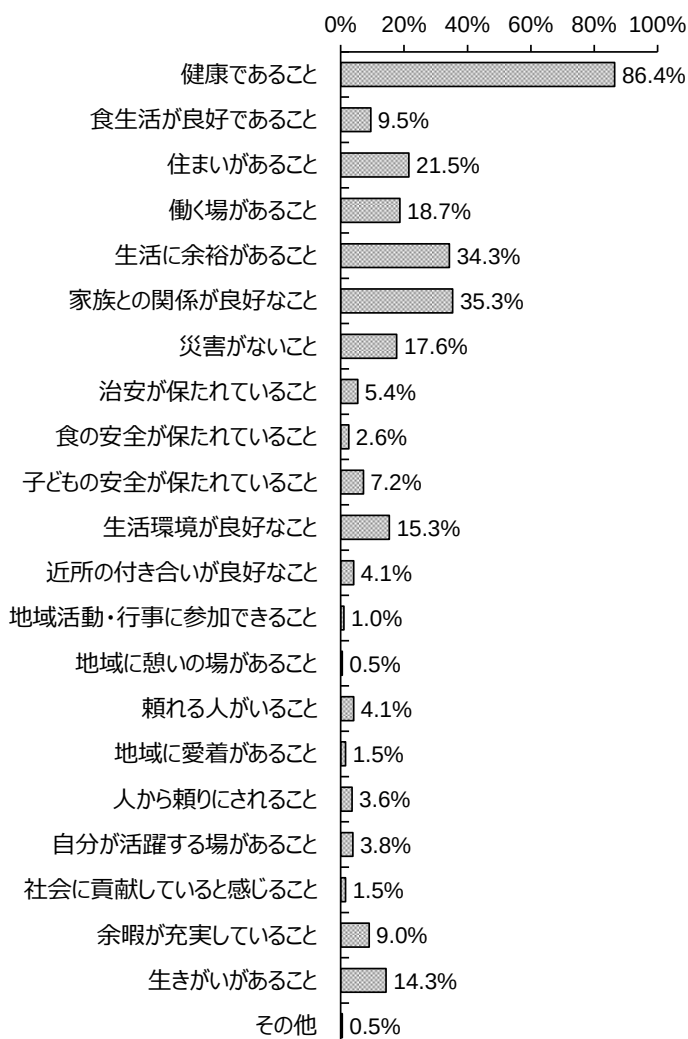
- 地域の伝統やつながりも大事ではあるが、一個人の意志も尊重されるべきと考える。
- 住んでいる地域には高齢者世帯が多く、若者がいない。地域を維持できるか不安。
- コロナの影響で仕事が忙しく、生きがいを感じられない。
- コロナで行動が狭められ、人とつながる機会が少なくなっていくのが心配。
- コロナ下で地域とのつながりが少しずつ少なくなっていくのは心配。その為、高齢者が増えていく中、何かあってはと心配で、時々声掛けや子ども達への声掛けも続けるようにしている。また、若い人達へは SOS の発信も呼びかけるようにしている。
- コロナがなかなか収束しない為、人とのつながりが希薄になっている。今、自分ができる範囲で地域に貢献できればと思っている。
- 家族の中、地域の中での世代間の考え方のギャップがある。
- 交通について、譲り合うという心得が必要。高齢者の交通マナーも気になる。
- 空き家が増加し、畑を荒らす害獣の住処となっていることが心配。
- 地域のつながりの強さや自然豊かな環境をこのまま、子どもたちに引き継ぎたい。
- 町中にちょっと友達とお茶を飲んだりする場所がない。子育て支援も大事だが、子育てを卒業した年齢の人が楽しめる場がほしい。
- 市全体の防災体制は進んでいると思う。今後は地区単位でのソフト面の協力体制を充実させてほしい。
- 子育て世代にとって、公園や子ども用品店などがあるととても住みやすい。
- 地産地消を意識し、手作りの食事を心がけている。家族の健康を保つのが生きがい。

問 6. あなたにとって、幸せな生活のために特に必要なことはどんなことだと思いますか。（複数回答：3つまで）

「幸せな生活のために特に必要なこと」についてたずねたところ、「健康であること」（86.4%）が最も高く、「家族との関係が良好なこと」（35.3%）、「生活に余裕があること」（34.3%）が続きます。

図表 2-6. 幸せな生活のために必要なこと

回答項目	回答者数	構成比
健康であること	338	86.4%
食生活が良好であること	37	9.5%
住まいがあること	84	21.5%
働く場があること	73	18.7%
生活に余裕があること	134	34.3%
家族との関係が良好なこと	138	35.3%
災害がないこと	69	17.6%
治安が保たれていること	21	5.4%
食の安全が保たれていること	10	2.6%
子どもの安全が保たれていること	28	7.2%
生活環境が良好なこと	60	15.3%
近所の付き合いが良好なこと	16	4.1%
地域活動・行事に参加できること	4	1.0%
地域に憩いの場があること	2	0.5%
頼れる人がいること	16	4.1%
地域に愛着があること	6	1.5%
人から頼りにされること	14	3.6%
自分が活躍する場があること	15	3.8%
社会に貢献していると感じる	6	1.5%
余暇が充実していること	35	9.0%
生きがいがあること	56	14.3%
その他	2	0.5%
不 明	9	
合 計	400	



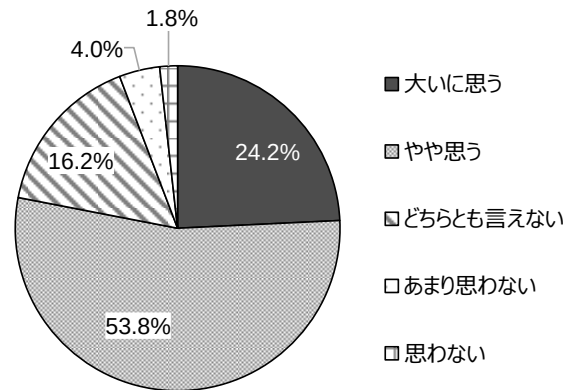
(n=391)

問 7. あなたは、「幸せ」だと思いますか。

回答者全体では「やや思う」(53.8%)が最も高く、「大いに思う」(24.2%)と合わせると、8割程度(78.0%)が幸せだと思っていると回答しています。

図表 2-7-1. 幸せだと思うか

回答項目	回答者数	構成比
大いに思う	96	24.2%
やや思う	213	53.8%
どちらとも言えない	64	16.2%
あまり思わない	16	4.0%
思わない	7	1.8%
不 明	4	
合 計	400	100.0%

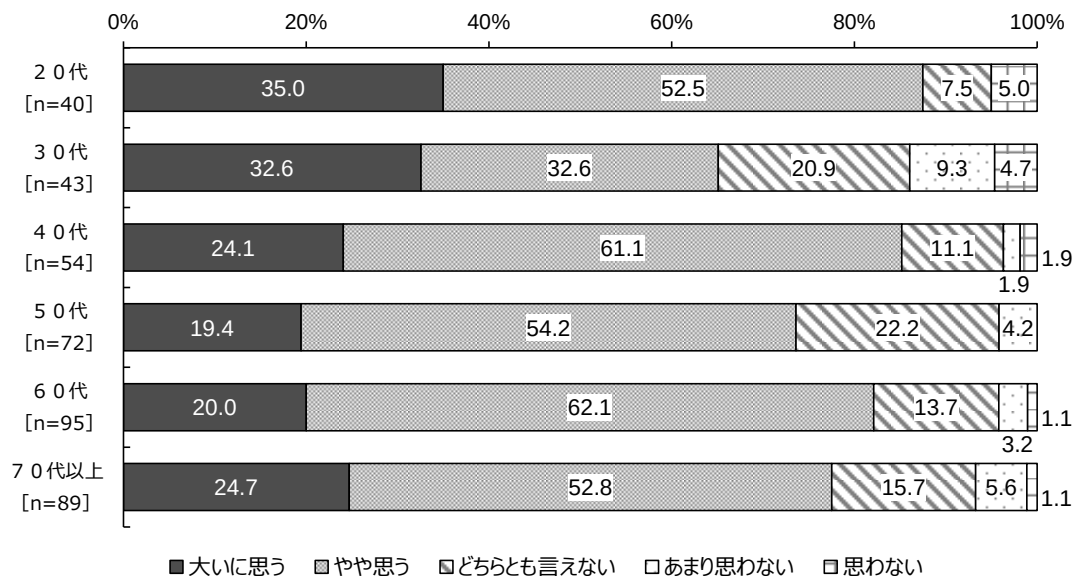


(n=396)

【年齢別】

年齢別にみると、「大いに思う」と「やや思う」を合わせた《「幸せ」と思う》の割合は20代で最も高く、9割程度(87.5%)を占めています。以下、40代(85.2%)、60代(82.1%)と続きます。一方、30代では6割半ば(65.2%)と、他の年代に比べて低くなっています。

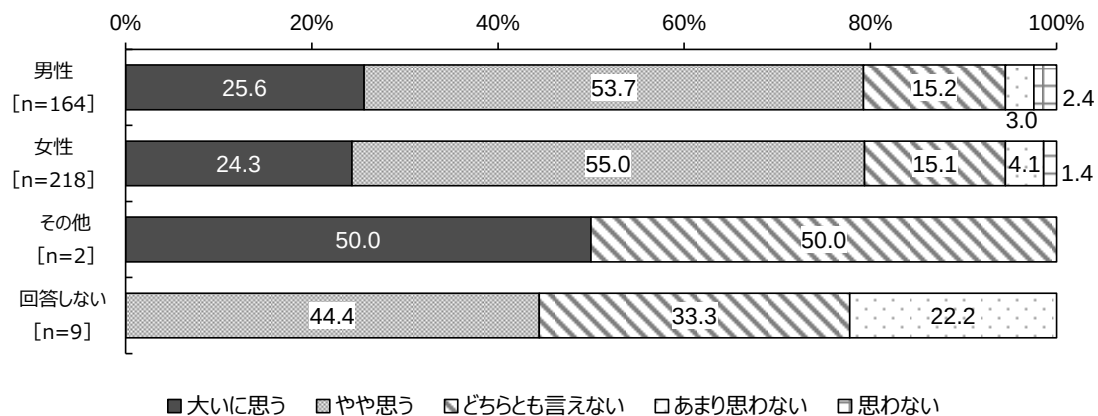
図表 2-7-2. 幸せだと思うか (年齢別)



【性別】

性別では、大きな差異はみられませんでした。

図表 2-7-3. 幸せだと思うか（性別）

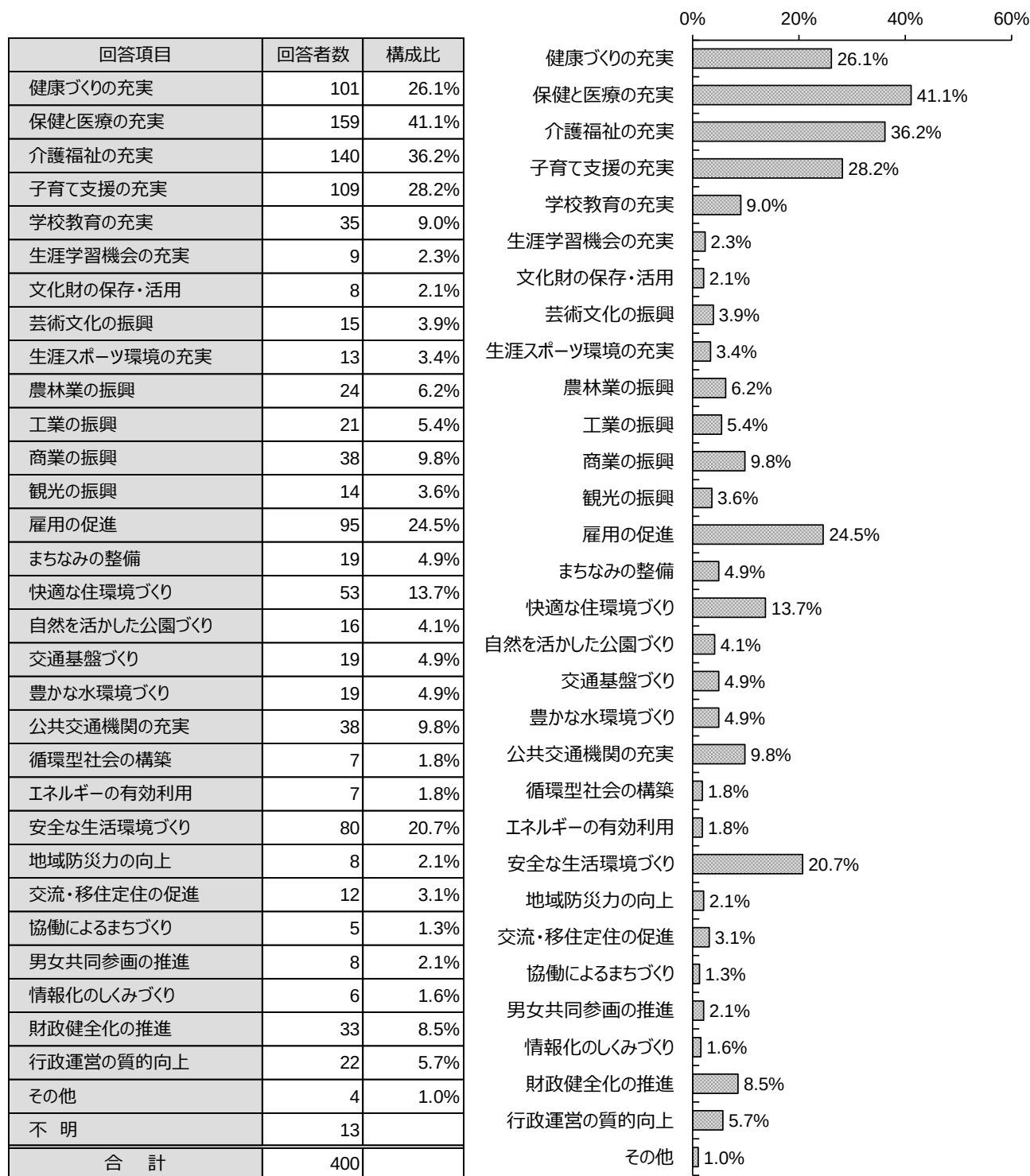


問 8. あなたにとって、幸せな生活のために特に重要と思われる市の取り組みは何ですか。

(複数回答：3つまで)

「幸せな生活のために特に重要と思われる市の取り組み」についてたずねたところ、「保健と医療の充実」(41.1%)が最も高く、「介護福祉の充実」(36.2%)、「子育て支援の充実」(28.2%)と続きます。

図表 2-8. 幸せな生活のために重要と思われる市の取り組み



(n=387)

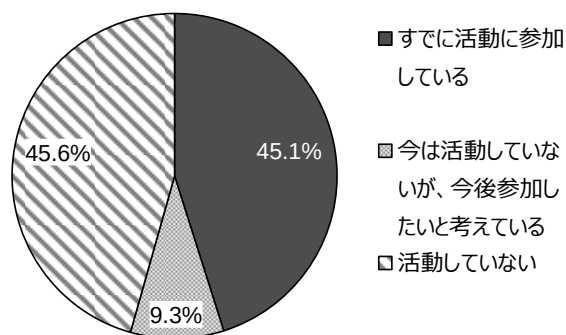
(3) 「地域活動への参加」について

問 1. あなたは地域活動に参加していますか。

回答者全体では「すでに活動している」が 45.1%、「活動していない」が 45.6%と、回答が分かれています。

図表 3-1-1. 地域活動への参加状況

回答項目	回答者数	構成比
すでに活動に参加している	175	45.1%
今は活動していないが、今後参加したいと考えている	36	9.3%
活動していない	177	45.6%
不 明	12	
合 計	400	100.0%

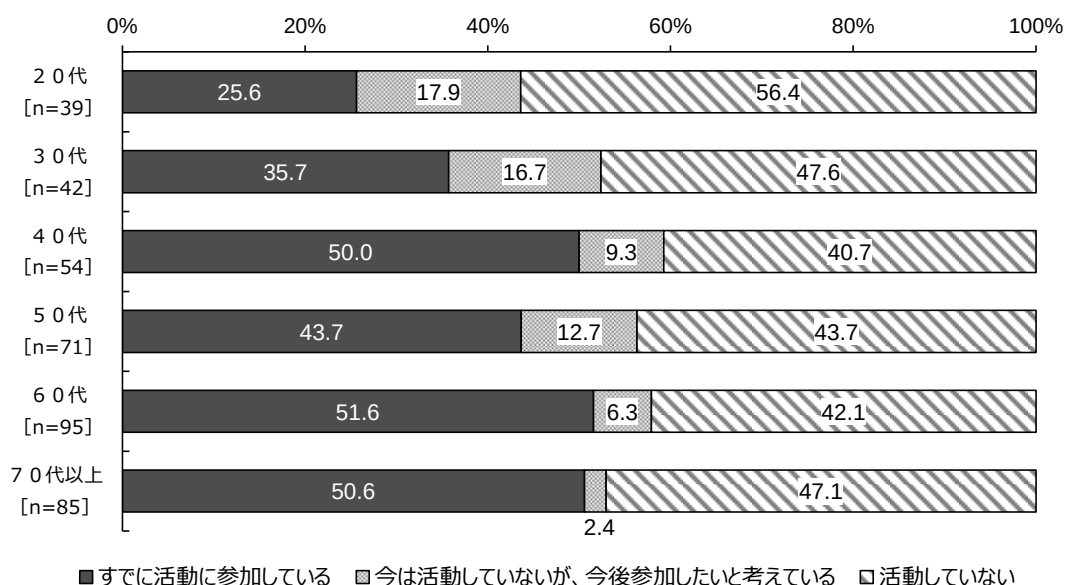


(n=388)

【年齢別】

年齢別にみると、「すでに活動に参加している」と回答した人の割合は、40代以上の年齢層では5割程度を占めており、「活動していない」を上回る傾向があります。一方、「活動していない」と回答した人の割合は、20代や30代の若年層で高くなっています。

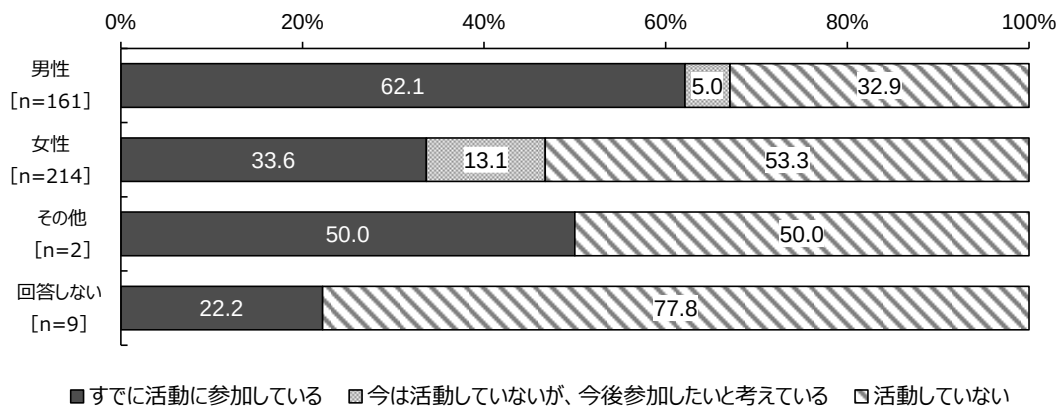
図表 3-1-2. 地域活動への参加状況（年齢別）



【性別】

性別にみると、「すでに活動に参加している」と回答した人の割合は、男性（62.1%）が女性（33.6%）を28.5ポイントと大きく上回っています。

図表 3-1-3. 地域活動への参加状況（性別）

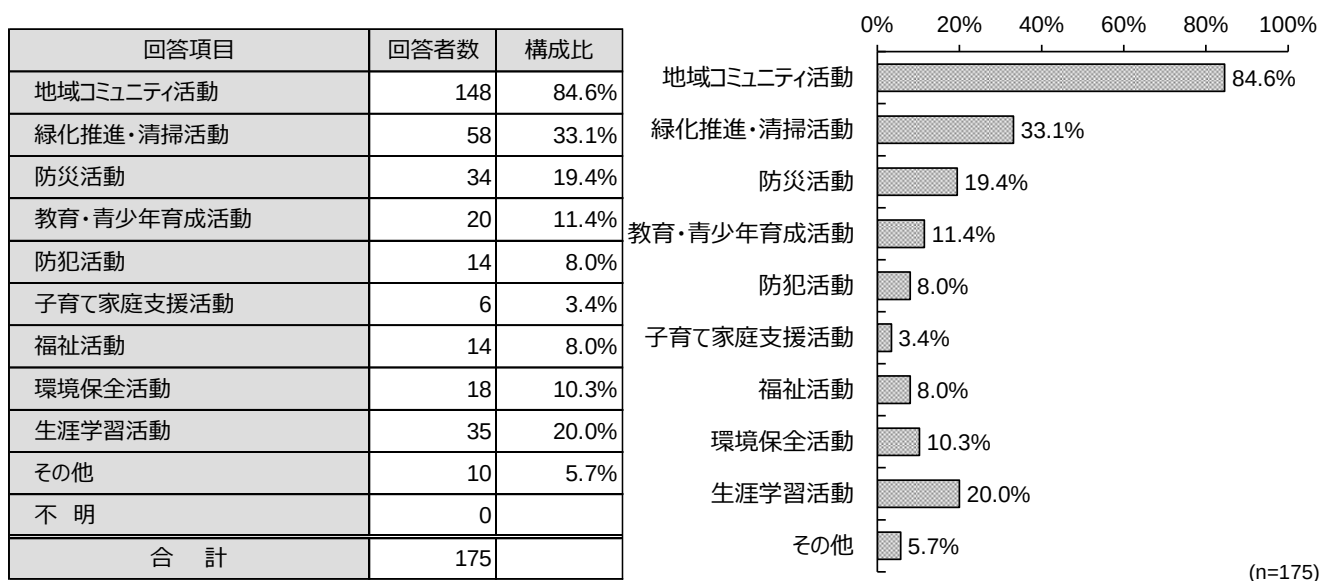


問2. 問1で「1. すでに活動に参加している」と回答した方にお伺いします。

あなたが現在参加している活動は何ですか。（複数回答：いくつでも）

「すでに活動に参加している」と回答した人を対象に、現在参加している活動についてたずねたところ、「地域コミュニティ活動」（84.6%）が最も高く、「緑化推進・清掃活動」（33.1%）、「生涯学習活動」（20.0%）と続きます。一方、参加している人の割合が最も低い活動は「子育て家庭支援活動」（3.4%）で、「防犯活動」（8.0%）、「福祉活動」（8.0%）と続きます。

図表 3-2. 参加している地域活動

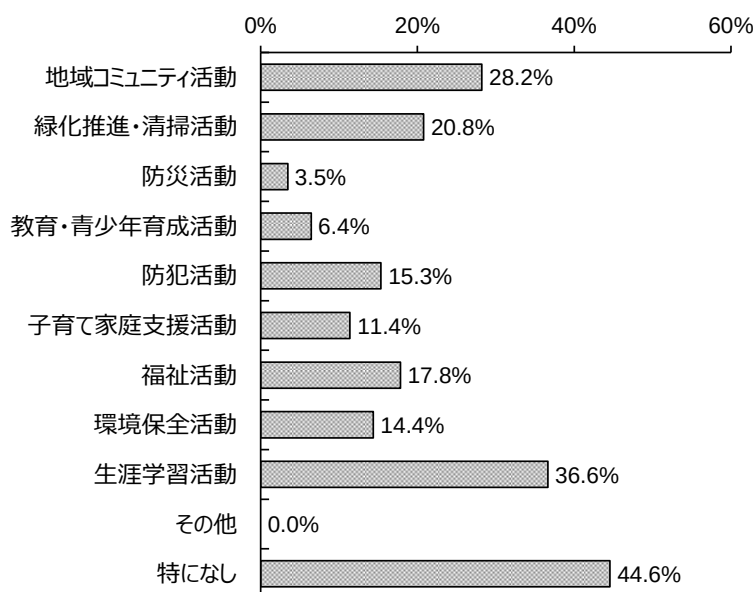


問3. 問1で「2. 今は活動していないが、今後参加したいと考えている」、「3. 活動していない」と回答した方にお伺いします。今後、特に参加したいと思う活動は何ですか。（複数回答：3つまで）

「今は活動していないが、今後参加したいと考えている」、「活動していない」と回答した人を対象に、今後、特に参加したいと思う活動についてたずねたところ、「特になし」（44.6%）が最も高く、「生涯学習活動」（36.6%）、「地域コミュニティ活動」（28.2%）と続きます。一方、「防災活動」は3.5%と最も低く、続く「教育・青少年育成活動」も6.4%となっています。

図表 3-3. 参加したい地域活動

回答項目	回答者数	構成比
地域コミュニティ活動	57	28.2%
緑化推進・清掃活動	42	20.8%
防災活動	7	3.5%
教育・青少年育成活動	13	6.4%
防犯活動	31	15.3%
子育て家庭支援活動	23	11.4%
福祉活動	36	17.8%
環境保全活動	29	14.4%
生涯学習活動	74	36.6%
その他	0	0.0%
特になし	90	44.6%
不 明	11	
合 計	213	



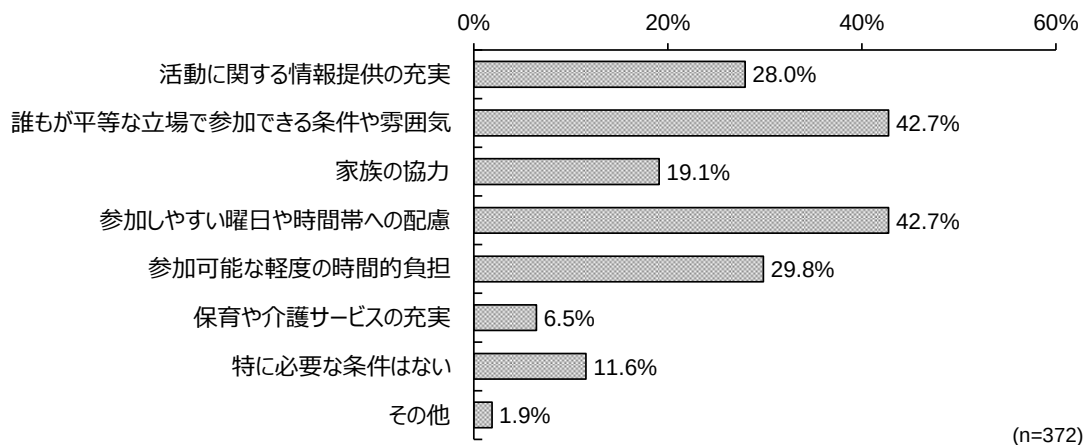
(n=202)

問 4. 今後、あなたが地域の活動に参加する場合、どのような条件が特に必要になると考えますか。
(複数回答：2つまで)

「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」、「参加しやすい曜日や時間帯への配慮」がともに42.7%と最も高く、「参加可能な軽度の時間的負担」(29.8%)、「活動に関する情報提供の充実」(28.0%)と続きます。一方、「保育や介護サービスの充実」(6.5%)や「家族の協力」(19.1%)を選ぶ人の割合は低くなっています。

図表 3-4. 地域活動への参加に必要な条件

回答項目	回答者数	構成比
活動に関する情報提供の充実	104	28.0%
誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気	159	42.7%
家族の協力	71	19.1%
参加しやすい曜日や時間帯への配慮	159	42.7%
参加可能な軽度の時間的負担	111	29.8%
保育や介護サービスの充実	24	6.5%
特に必要な条件はない	43	11.6%
その他	7	1.9%
不 明	28	
合 計	400	



（４） 市の施策（取り組み）に対する満足度・重要度

これまで長井市が進めてきた取り組みについて、あなたの現在の満足度とこれからの重要度についてお聞きします。

- ・満足度（これまでの長井市の取り組みや現在の状況について、どのくらい満足しているか）
- ・重要度（これからの長井市にとって、どのくらい重要と感じているか）

【満足度・重要度の分析の見方】

市の取り組みに対する市民の満足度ならびに重要度の分析に際しては、下記のように回答結果を得点化しています。

選択肢に点数を付けて、その平均値を求め、満足度と重要度を数値化することによって、項目ごとに比較できるようにしています。

満足度	重要度	得点
満足	重要	4
やや満足	やや重要	2
やや不満	あまり重要ではない	- 2
不満	重要ではない	- 4
わからない	わからない	0

※計算式（加重平均）：

$$\begin{aligned} \text{満足度} = & \{ (\text{「満足」の数} \times 4) + (\text{「やや満足」の数} \times 2) \\ & + (\text{「やや不満」の数} \times (-2)) + (\text{「不満」の数} \times (-4)) \} \\ & \div (\text{「わからない」を除く有効回答数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{重要度} = & \{ (\text{「重要」の数} \times 4) + (\text{「やや重要」の数} \times 2) \\ & + (\text{「あまり重要ではない」の数} \times (-2)) + (\text{「重要ではない」の数} \times (-4)) \} \\ & \div (\text{「わからない」を除く有効回答数}) \end{aligned}$$

① これまでの満足度

図表 4-1. 満足度

	満 足	やや満足	やや不満	不 満	わからない	満足度
基本目標 1 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり						
施策 1 健康づくりの充実	6.7%	35.6%	21.3%	4.9%	31.5%	0.52
施策 2 保健と医療の充実	12.2%	49.1%	20.3%	3.8%	14.7%	1.07
施策 3 介護福祉の充実	8.0%	28.3%	20.6%	5.4%	37.8%	0.41
基本目標 2 未来を担う心豊かな子どもが育つまちづくり						
施策 4 子育て支援の充実	9.2%	38.9%	15.3%	5.4%	31.2%	0.91
施策 5 学校教育の充実	12.3%	39.9%	11.5%	3.3%	33.0%	1.38
基本目標 3 心豊かで元気に活動できるまちづくり						
施策 6 生涯学習機会の充実	5.1%	28.7%	18.2%	3.8%	44.1%	0.47
施策 7 文化財の保存・活用	10.5%	38.7%	11.3%	1.8%	37.7%	1.44
施策 8 芸術文化の振興	6.9%	32.1%	20.3%	4.9%	35.9%	0.50
施策 9 生涯スポーツ環境の充実	7.4%	27.7%	26.1%	8.1%	30.7%	0.00
基本目標 4 資源を活かし活力を生み出すまちづくり						
施策10 農林業の振興	16.5%	45.5%	12.3%	3.3%	22.4%	1.53
施策11 工業の振興	3.8%	15.8%	29.8%	12.8%	37.8%	-1.02
施策12 商業の振興	3.9%	21.9%	31.4%	22.2%	20.6%	-1.16
施策13 観光の振興	6.6%	28.9%	28.1%	18.9%	17.4%	-0.58
施策14 雇用の創出	3.1%	17.9%	23.3%	25.1%	30.5%	-1.42
基本目標 5 住みやすく魅力あふれるまちづくり						
施策15 まちなみの整備	9.2%	39.3%	25.8%	8.2%	17.6%	0.38
施策16 快適な住環境づくり	8.7%	35.5%	19.4%	8.4%	28.1%	0.46
施策17 自然を活かした公園づくり	11.2%	38.3%	25.1%	9.6%	15.7%	0.39
施策18 交通基盤づくり	6.4%	33.1%	33.3%	15.8%	11.5%	-0.43
施策19 豊かな水環境づくり	18.9%	46.9%	12.2%	5.4%	16.6%	1.48
施策20 公共交通機関の充実	5.4%	23.3%	27.4%	28.9%	15.1%	-1.20
基本目標 6 みんなで築く安全安心なまちづくり						
施策21 循環型社会の構築	16.1%	42.7%	11.8%	3.1%	26.3%	1.55
施策22 エネルギーの有効利用	4.1%	26.0%	20.7%	6.4%	42.9%	0.03
施策23 安全な生活環境づくり	6.6%	35.5%	23.2%	6.6%	28.1%	0.34
施策24 地域防災力の向上	6.6%	37.5%	22.4%	7.7%	25.8%	0.35
基本目標 7 市民と行政が一体となった協働によるまちづくり						
施策25 交流・移住定住の推進	2.6%	20.4%	22.4%	6.9%	47.7%	-0.41
施策26 協働によるまちづくり	4.9%	20.2%	24.0%	9.2%	41.7%	-0.43
施策27 男女共同参画の推進	4.6%	17.6%	22.0%	8.4%	47.3%	-0.46
施策28 情報化のしくみづくり	7.2%	33.4%	17.0%	8.0%	34.4%	0.45
基本目標 8 市民と共に未来を創る体制づくり						
施策29 財政健全化の推進	3.3%	20.2%	24.3%	14.8%	37.3%	-0.87
施策30 行政運営の質的向上	5.1%	21.7%	19.7%	13.8%	39.6%	-0.51

② これからの重要度

図表 4-2. 重要度

	重 要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	重要度
基本目標 1 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり						
施策 1 健康づくりの充実	35.8%	47.5%	6.5%	1.6%	8.6%	2.40
施策 2 保健と医療の充実	57.0%	36.3%	0.8%	0.5%	5.4%	3.14
施策 3 介護福祉の充実	58.5%	28.5%	0.5%	1.6%	11.0%	3.18
基本目標 2 未来を担う心豊かな子どもが育つまちづくり						
施策 4 子育て支援の充実	62.9%	24.7%	1.8%	0.5%	10.1%	3.28
施策 5 学校教育の充実	63.5%	22.8%	2.1%	0.8%	10.9%	3.28
基本目標 3 心豊かで元気に活動できるまちづくり						
施策 6 生涯学習機会の充実	14.8%	47.4%	15.3%	3.9%	18.7%	1.32
施策 7 文化財の保存・活用	20.7%	42.9%	14.7%	4.1%	17.6%	1.49
施策 8 芸術文化の振興	19.1%	41.9%	16.5%	4.4%	18.1%	1.34
施策 9 生涯スポーツ環境の充実	23.8%	47.2%	12.7%	2.6%	13.7%	1.78
基本目標 4 資源を活かし活力を生み出すまちづくり						
施策10 農林業の振興	51.4%	37.8%	1.8%	0.3%	8.7%	3.03
施策11 工業の振興	46.9%	35.1%	4.1%	0.5%	13.4%	2.86
施策12 商業の振興	48.8%	35.4%	3.9%	1.6%	10.3%	2.81
施策13 観光の振興	36.8%	46.0%	6.4%	2.6%	8.2%	2.35
施策14 雇用の創出	60.8%	25.9%	2.3%	1.0%	10.0%	3.18
基本目標 5 住みやすく魅力あふれるまちづくり						
施策15 まちなみの整備	25.4%	53.1%	10.0%	3.1%	8.5%	1.92
施策16 快適な住環境づくり	28.3%	50.9%	7.2%	1.8%	11.8%	2.19
施策17 自然を活かした公園づくり	28.2%	46.7%	13.1%	2.6%	9.5%	1.88
施策18 交通基盤づくり	44.5%	43.2%	5.1%	0.5%	6.6%	2.70
施策19 豊かな水環境づくり	47.2%	40.8%	4.6%	0.3%	7.2%	2.80
施策20 公共交通機関の充実	45.3%	39.4%	6.9%	1.3%	7.2%	2.60
基本目標 6 みんなで築く安全安心なまちづくり						
施策21 循環型社会の構築	27.6%	46.9%	11.1%	3.9%	10.6%	1.86
施策22 エネルギーの有効利用	37.1%	42.5%	6.4%	1.0%	12.9%	2.49
施策23 安全な生活環境づくり	38.2%	46.2%	5.4%	0.5%	9.7%	2.57
施策24 地域防災力の向上	56.9%	35.1%	1.0%	0.5%	6.4%	3.14
基本目標 7 市民と行政が一体となった協働によるまちづくり						
施策25 交流・移住定住の推進	20.6%	45.9%	13.9%	3.6%	16.0%	1.57
施策26 協働によるまちづくり	29.4%	47.3%	7.3%	1.8%	14.3%	2.22
施策27 男女共同参画の推進	24.8%	41.6%	16.0%	2.6%	15.0%	1.65
施策28 情報化のしくみづくり	26.4%	47.0%	11.2%	1.6%	13.8%	1.98
基本目標 8 市民と共に未来を創る体制づくり						
施策29 財政健全化の推進	54.9%	30.2%	2.3%	0.8%	11.9%	3.09
施策30 行政運営の質的向上	51.0%	32.0%	2.3%	0.5%	14.2%	3.05

③「これまでの満足度」と「これからの重要度」の比較

取り組みごとの「満足度」と「重要度」は以下のようになりますが、これを縦軸に「重要度」、横軸に「満足度」を取った相関図にまとめることにより、全体の取り組みの状況を見ることができます。特に図の左上の領域にある取り組みは、「満足度が低く、重要度は高い」と考えられ、今後改善が望まれる領域となります。

図表 4-3. 満足度と重要度の比較

市の取り組み	満足度	重要度
施策1 健康づくりの充実	0.52	2.40
施策2 保健と医療の充実	1.07	3.14
施策3 介護福祉の充実	0.41	3.18
施策4 子育て支援の充実	0.91	3.28
施策5 学校教育の充実	1.38	3.28
施策6 生涯学習機会の充実	0.47	1.32
施策7 文化財の保存・活用	1.44	1.49
施策8 芸術文化の振興	0.50	1.34
施策9 生涯スポーツ環境の充実	0.00	1.78
施策10 農林業の振興	1.53	3.03
施策11 工業の振興	-1.02	2.86
施策12 商業の振興	-1.16	2.81
施策13 観光の振興	-0.58	2.35
施策14 雇用の創出	-1.42	3.18
施策15 まちなみの整備	0.38	1.92
施策16 快適な住環境づくり	0.46	2.19
施策17 自然を活かした公園づくり	0.39	1.88
施策18 交通基盤づくり	-0.43	2.70
施策19 豊かな水環境づくり	1.48	2.80
施策20 公共交通機関の充実	-1.20	2.60
施策21 循環型社会の構築	1.55	1.86
施策22 エネルギーの有効利用	0.03	2.49
施策23 安全な生活環境づくり	0.34	2.57
施策24 地域防災力の向上	0.35	3.14
施策25 交流・移住定住の推進	-0.41	1.57
施策26 協働によるまちづくり	-0.43	2.22
施策27 男女共同参画の推進	-0.46	1.65
施策28 情報化のしくみづくり	0.45	1.98
施策29 財政健全化の推進	-0.87	3.09
施策30 行政運営の質的向上	-0.51	3.05
全体平均	0.17	2.44

【満足度と重要度の相関図】

「学校教育」や「子育て支援」、「保健・医療」などの施策は、満足度、重要度ともに高く、今後も重点的に継続して施策を実施していくことが求められていることがわかります。

一方、「雇用創出」や「財政健全化」、「商業振興」、「工業振興」などの施策は、重要度は高いものの、満足度が低く、今後重点的に改善が求められている施策であることがわかります。

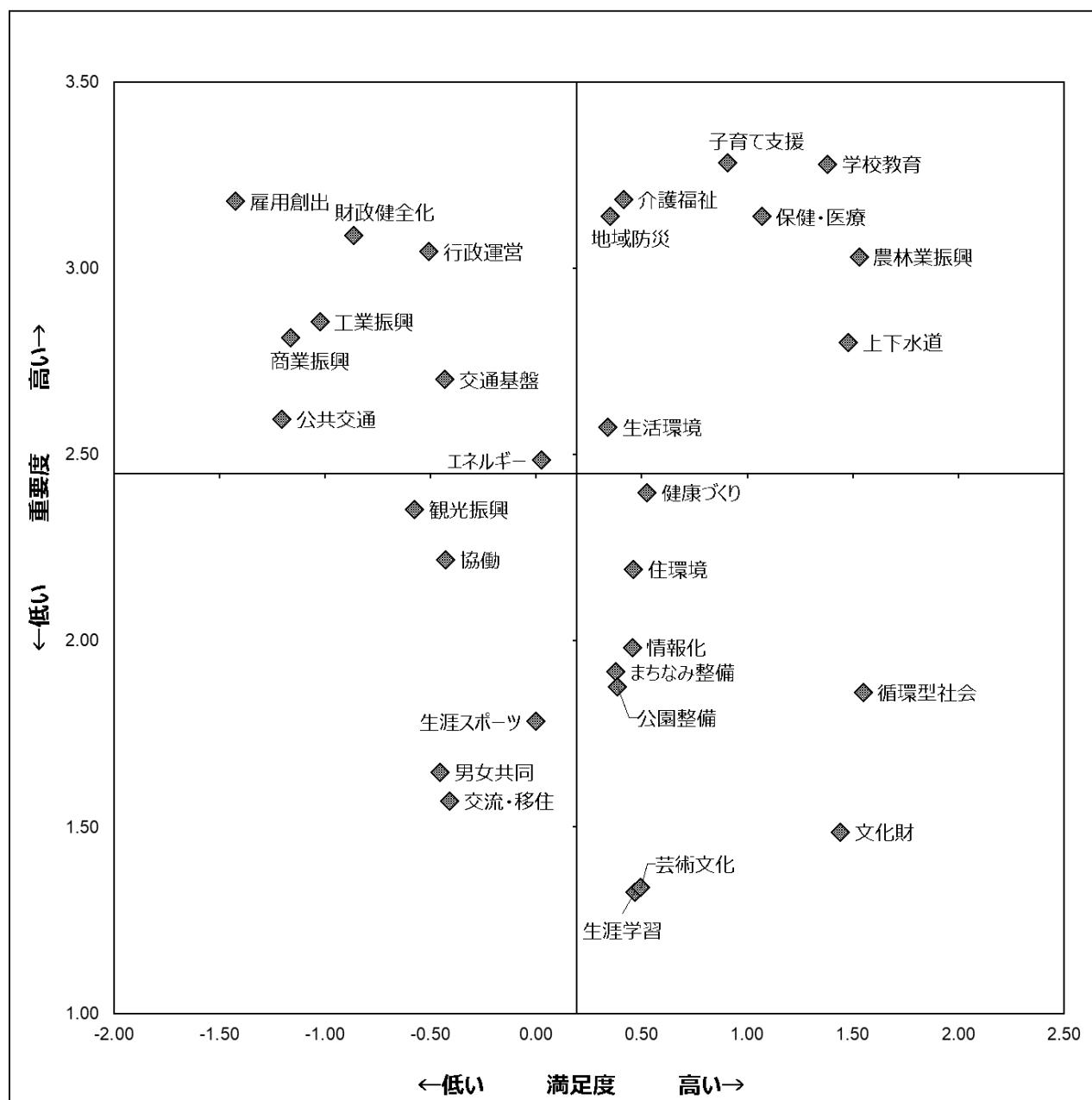
図表 4-4. 満足度と重要度の相関図

【重点改善分野】

(満足度が低く、重要度は高い)

【重点維持分野】

(満足度、重要度ともに高い)



【改善分野】

(満足度、重要度ともに低い)

【維持分野】

(満足度が高く、重要度は低い)

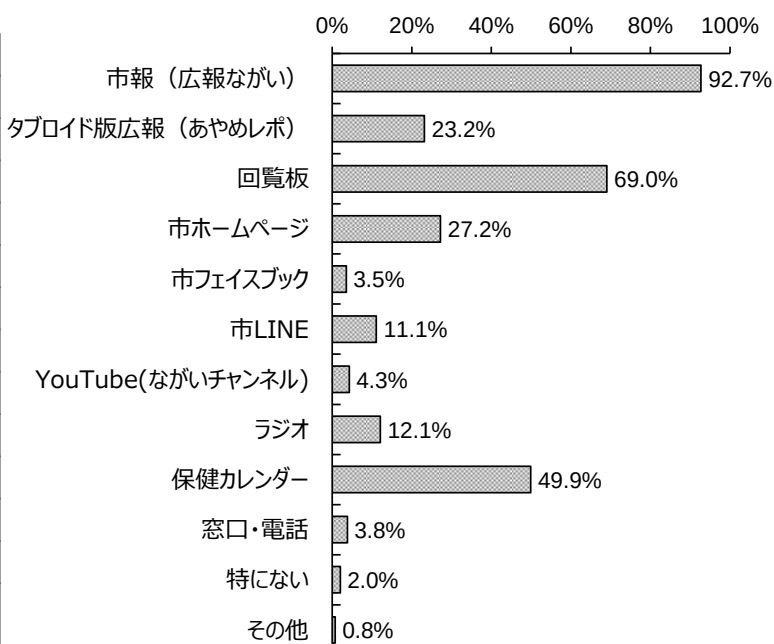
(5) 市の広報について

問 1. 普段、市政情報をどのような手段で得ていますか。(複数回答：いくつでも)

回答者全体では「市報（広報ながい）」が 92.7%と最も高く、「回覧板」(69.0%)、「保健カレンダー」(49.9%) と続きます。一方、「市フェイスブック」は 3.5%と最も低く、以下、「窓口・電話」(3.8%)、「YouTube（ながいチャンネル）」(4.3%) と続きます。

図表 5-1-1. 市政情報の取得手段

回答項目	回答者数	構成比
市報（広報ながい）	368	92.7%
タブロイド版広報（あやめレポ）	92	23.2%
回覧板	274	69.0%
市ホームページ	108	27.2%
市フェイスブック	14	3.5%
市LINE	44	11.1%
YouTube(ながいチャンネル)	17	4.3%
ラジオ	48	12.1%
保健カレンダー	198	49.9%
窓口・電話	15	3.8%
特にない	8	2.0%
その他	3	0.8%
不 明	3	
合 計	400	



(n=397)

【年齢別】

年齢別にみると、「市報（広報ながい）」はあらゆる年代で8割以上と最も高く、幅広い年代で見られています。また、「回覧板」と「保健カレンダー」は50代以上の年齢層で高い傾向があります。一方、「市フェイスブック」、「市LINE」、「YouTube（ながいチャンネル）」といったSNSは、若年層を含めて全体的に低くなっています。

図表 5-1-2. 市政情報の取得手段（年齢別）

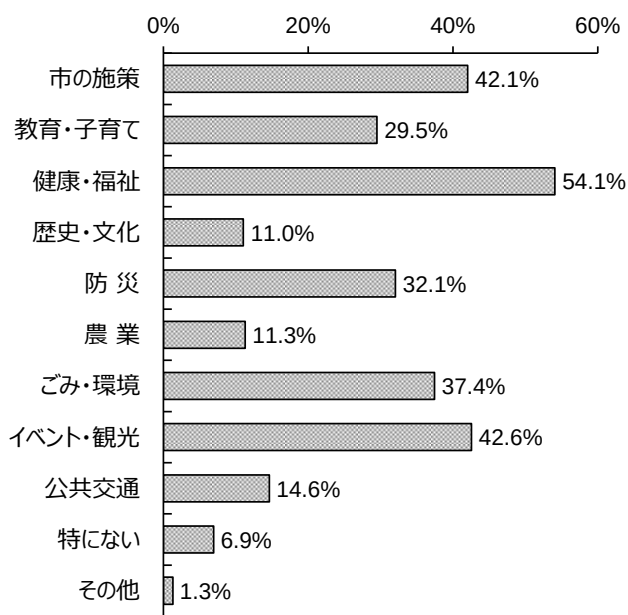
	市報 （広報ながい）	タブロイド版 （あやめレポ）	回覧板	市ホームページ	市フェイスブック	市LINE	YouTube （ながいチャンネル）	ラジオ	保健カレンダー	窓口・電話	特 に ない	そ の 他
20代 [n=40]	80.0%	5.0%	47.5%	32.5%	2.5%	2.5%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	7.5%	0.0%
30代 [n=43]	83.7%	14.0%	44.2%	39.5%	4.7%	11.6%	2.3%	11.6%	20.9%	4.7%	4.7%	4.7%
40代 [n=55]	94.5%	21.8%	56.4%	34.5%	10.9%	25.5%	9.1%	16.4%	36.4%	1.8%	0.0%	1.8%
50代 [n=72]	88.9%	31.9%	72.2%	31.9%	1.4%	16.7%	2.8%	8.3%	52.8%	4.2%	4.2%	0.0%
60代 [n=95]	97.9%	29.5%	81.1%	28.4%	2.1%	8.4%	2.1%	15.8%	64.2%	3.2%	0.0%	0.0%
70代以上 [n=89]	98.9%	23.6%	84.3%	9.0%	2.2%	4.5%	3.4%	10.1%	71.9%	6.7%	0.0%	0.0%

問 2. 市政について興味のある、知りたい分野は何ですか。（複数回答：いくつでも）

回答者全体では「健康・福祉」（54.1%）が最も高く、以下、「イベント・観光」（42.6%）、「市の施策」（42.1%）が続きます。一方、「歴史・文化」は11.0%と最も低く、「農業」（11.3%）、「公共交通」（14.6%）が続きます。

図表 5-2-1. 市政について興味のある分野

回答項目	回答者数	構成比
市の施策	164	42.1%
教育・子育て	115	29.5%
健康・福祉	211	54.1%
歴史・文化	43	11.0%
防 災	125	32.1%
農 業	44	11.3%
ごみ・環境	146	37.4%
イベント・観光	166	42.6%
公共交通	57	14.6%
特にない	27	6.9%
その他	5	1.3%
不 明	10	
合 計	400	



(n=390)

【年齢別】

年齢別にみると、20代から40代の子育て世代では「教育・子育て」が、50代以上の年齢層では「健康・福祉」が高い傾向があります。また、「イベント・観光」は20代と40代で、「市の施策」は60代と70代以上の高齢層でそれぞれ高くなっています。

図表 5-2-2. 市政について興味のある分野（年齢別）

	市の施策	教育・子育て	健康・福祉	歴史・文化	防 災	農 業	ごみ・環境	イベント・観光	公共交通	特にない	その他
20代 [n=40]	40.0%	42.5%	25.0%	10.0%	15.0%	5.0%	20.0%	65.0%	10.0%	10.0%	2.5%
30代 [n=43]	32.6%	53.5%	34.9%	2.3%	23.3%	14.0%	32.6%	37.2%	7.0%	11.6%	2.3%
40代 [n=55]	34.5%	47.3%	43.6%	12.7%	32.7%	9.1%	29.1%	60.0%	16.4%	3.6%	1.8%
50代 [n=70]	25.7%	20.0%	64.3%	10.0%	31.4%	11.4%	41.4%	48.6%	12.9%	11.4%	1.4%
60代 [n=93]	53.8%	19.4%	60.2%	15.1%	35.5%	10.8%	46.2%	37.6%	10.8%	3.2%	1.1%
70代以上 [n=87]	54.0%	18.4%	67.8%	11.5%	40.2%	14.9%	40.2%	25.3%	25.3%	5.7%	0.0%

【性別】

性別にみると、男性・女性ともに「健康・福祉」（男性：52.4% 女性：56.3%）が高い傾向があります。また、「市の施策」は男性（57.3%）が女性（31.0%）を 26.3 ポイント上回り、「ゴミ・環境」は女性（42.7%）が男性（30.5%）を 12.2 ポイント上回っています。

図表 5-2-3. 市政について興味のある分野（性別）

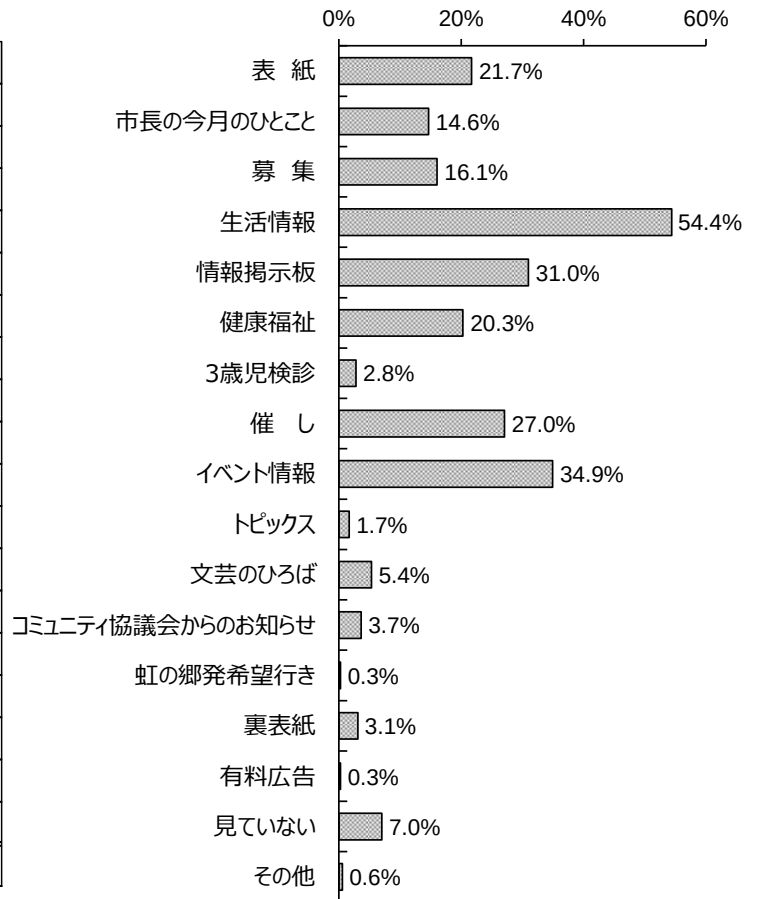
	市の 施策	教育・ 子育て	健康・ 福祉	歴史・ 文化	防災	農業	ゴミ・ 環境	イベント・ 観光	公共 交通	特 に ない	そ の 他
男性 [n=164]	57.3%	32.3%	52.4%	13.4%	32.9%	16.5%	30.5%	39.0%	18.9%	7.3%	1.2%
女性 [n=213]	31.0%	27.2%	56.3%	9.4%	31.0%	7.5%	42.7%	46.9%	11.7%	5.6%	1.4%
その他 [n=2]	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
回答しない [n=9]	44.4%	33.3%	33.3%	0.0%	44.4%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%

問3.「広報ながい」でよく見るコーナーは何ですか。(複数回答：3つまで)

回答者全体では「生活情報」(54.4%)が最も高く、「イベント情報」(34.9%)、「表紙」(21.7%)と続きます。

図表 5-3-1.「広報ながい」でよく見るコーナー

回答項目	回答者数	構成比
表紙	77	21.7%
市長の今月のひとこと	52	14.6%
募集	57	16.1%
生活情報	193	54.4%
情報掲示板	110	31.0%
健康福祉	72	20.3%
3歳児検診	10	2.8%
催し	96	27.0%
イベント情報	124	34.9%
トピックス	6	1.7%
文芸のひろば	19	5.4%
コミュニティ協議会からのお知らせ	13	3.7%
虹の郷発希望行き	1	0.3%
裏表紙	11	3.1%
有料広告	1	0.3%
見ていない	25	7.0%
その他	2	0.6%
不明	45	
合計	400	



(n=355)

【年齢別】

年齢別にみると、70代以上の高齢層では「健康福祉」(34.2%)が、20代では「見ていない」(23.1%)が、それぞれ他の年代に比べて高い傾向があります。また、「生活情報」や「イベント情報」は幅広い年代で高く、なかでも「生活情報」は30代以上の年齢層で5～6割前後と、最も高くなっています。

図表 5-3-2. 「広報ながい」でよく見るコーナー（年齢別）

	表紙	市長の今月のひとこと	募集	生活情報	情報掲示板	健康福祉	3歳児検診	催し	イベント情報	トピックス	文芸のひろば	コミュニティ協議会のお知らせ	虹の郷発希望行き	裏表紙	有料広告	見ていない	その他
20代 [n=39]	38.5%	2.6%	25.6%	20.5%	10.3%	12.8%	5.1%	25.6%	35.9%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	23.1%	2.6%
30代 [n=41]	22.0%	2.4%	17.1%	51.2%	19.5%	12.2%	7.3%	26.8%	36.6%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	12.2%	0.0%
40代 [n=49]	14.3%	10.2%	24.5%	59.2%	32.7%	12.2%	2.0%	36.7%	46.9%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	6.1%	0.0%
50代 [n=64]	15.6%	12.5%	15.6%	65.6%	31.3%	15.6%	1.6%	26.6%	39.1%	1.6%	1.6%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	1.6%
60代 [n=84]	25.0%	17.9%	14.3%	63.1%	39.3%	23.8%	1.2%	23.8%	36.9%	2.4%	8.3%	2.4%	1.2%	2.4%	0.0%	1.2%	0.0%
70代以上 [n=76]	19.7%	28.9%	6.6%	52.6%	36.8%	34.2%	2.6%	25.0%	19.7%	1.3%	11.8%	7.9%	0.0%	1.3%	1.3%	3.9%	0.0%

問 4．広報活動全般についてあなたのご意見や考えをお聞かせください。

広報活動全般についてたずねたところ、14 件の意見が寄せられました。

主な意見は、次のとおりです。

- 長井市や関係団体から全戸配布されたチラシもデータ化して HP や LINE などを確認できるようにしてほしい。（世帯の関係で一戸にチラシ一枚のみでは確認できないこともある。）
- イベントを盛り上げようと頑張っている人間をもっとピックアップしてもらいたい。
- 表現・表記がわかりにくい。改善されるべき。
- 長井市や関係団体が開催する長井のイベントに参加したいのでイベント情報をすべて知りたい。市の HP はいつも最新でいてほしい。
- 広報ながいが月 1 回の発行でも内容が凝縮して読みやすい。
- 若年層の関心が集まるような広報をすると思う。SNS などの有効活用。
- 個人情報に関わるので、難しいかもしれないが、市報あるいはコミセンからの館報に『結婚された方』『お悔やみ』『新生児』のお知らせなど掲載してはどうかと思う。
- ふるさと CM 大賞に力を入れて制作してほしい。
- スマートシティの推進に当たり、高齢者に分かりやすい広報が大切。

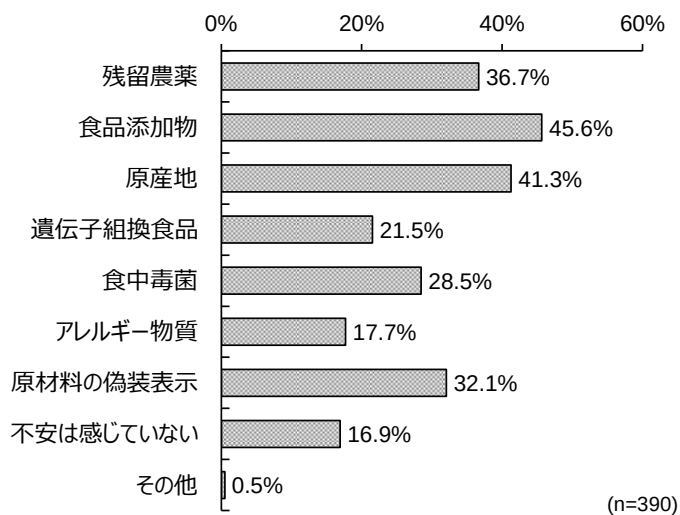
（６） 農産物振興、国産国消・地産地消、地域農業について

問１．現在の「食の安心・安全」について不安を感じることは何ですか。（複数回答：いくつでも）

回答者全体では「食品添加物」（45.6％）が最も高く、「原産地」（41.3％）、「残留農薬」（36.7％）と続きます。

図表 6-1-1. 「食の安全・安心」について不安を感じること

回答項目	回答者数	構成比
残留農薬	143	36.7%
食品添加物	178	45.6%
原産地	161	41.3%
遺伝子組換え食品	84	21.5%
食中毒菌	111	28.5%
アレルギー物質	69	17.7%
原材料の偽装表示	125	32.1%
不安は感じていない	66	16.9%
その他	2	0.5%
不 明	10	
合 計	400	



【年齢別】

年齢別にみると、50代以上の年齢層で「食品添加物」や「原産地」が高く、5割前後となっています。また、「食の安心・安全」への不安は、若年層よりも高齢層で高い傾向があり、なかでも「残留農薬」や「原材料の偽装表示」は60代以上の高齢層で高くなっています。一方、20代から40代の年齢層では「不安は感じていない」が他の年代に比べて高くなっています。

図表 6-1-2. 「食の安全・安心」について不安を感じる事（年齢別）

	残留農薬	食品添加物	原産地	遺伝子組換え食品	食中毒菌	アレルギー物質	原材料の偽装表示	不安は感じていない	その他
20代 [n=40]	15.0%	40.0%	17.5%	12.5%	22.5%	10.0%	12.5%	37.5%	0.0%
30代 [n=41]	26.8%	31.7%	29.3%	9.8%	26.8%	14.6%	22.0%	26.8%	0.0%
40代 [n=55]	25.5%	32.7%	27.3%	12.7%	27.3%	23.6%	23.6%	30.9%	1.8%
50代 [n=71]	32.4%	52.1%	47.9%	25.4%	29.6%	18.3%	29.6%	12.7%	1.4%
60代 [n=94]	46.8%	50.0%	50.0%	29.8%	30.9%	18.1%	40.4%	7.4%	0.0%
70代以上 [n=87]	49.4%	51.7%	50.6%	23.0%	29.9%	18.4%	44.8%	8.0%	0.0%

【性別】

性別にみると、ほとんどの項目で女性が男性を上回っており、なかでも「食品添加物」（男性：36.2% 女性：51.9%）と「原産地」（男性：33.7% 女性 46.7%）は女性が男性よりも10ポイント以上高くなっています。

図表 6-1-3. 「食の安全・安心」について不安を感じる事（性別）

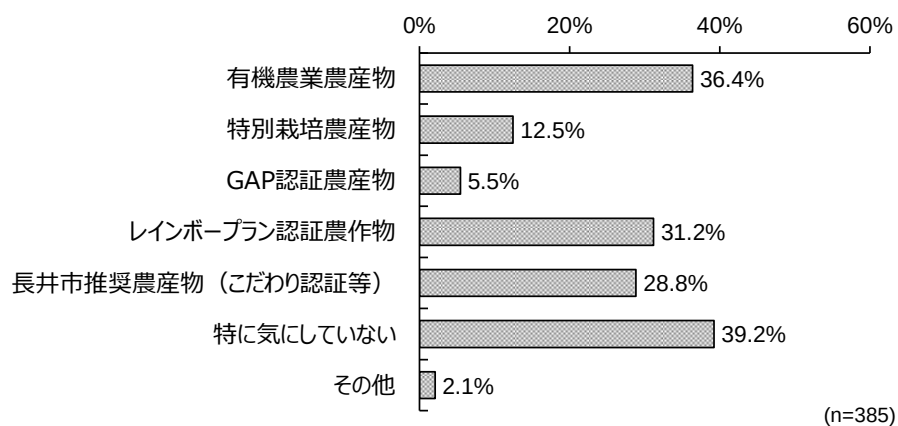
	残留農薬	食品添加物	原産地	遺伝子組換え食品	食中毒菌	アレルギー物質	原材料の偽装表示	不安は感じていない	その他
男性 [n=163]	34.4%	36.2%	33.7%	20.2%	23.9%	16.6%	33.1%	19.0%	0.0%
女性 [n=214]	39.3%	51.9%	46.7%	21.5%	32.7%	19.6%	31.3%	13.6%	0.9%
その他 [n=2]	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
回答しない [n=9]	22.2%	55.6%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	55.6%	0.0%

問2.「食の安心・安全」について興味がある、または今後購入したいと考えているものは何ですか。
(複数回答：いくつでも)

回答者全体では「特に気にしていない」(39.2%)が最も高く、以下、「有機農業農産物」(36.4%)、「レインボープラン認証農産物」(31.2%)と続きます。一方、「GAP 認証農産物」は5.5%と最も低く、「特別栽培農産物」(12.5%)が続きます。

図表 6-2-1. 「食の安心・安全」について興味のあるもの

回答項目	回答者数	構成比
有機農業農産物	140	36.4%
特別栽培農産物	48	12.5%
GAP認証農産物	21	5.5%
レインボープラン認証農作物	120	31.2%
長井市推奨農産物（こだわり認証等）	111	28.8%
特に気にしていない	151	39.2%
その他	8	2.1%
不 明	15	
合 計	400	



【年齢別】

年齢別にみると、40代で「レインボープラン認証農産物」が、50代以上の年齢層で「有機農業農産物」がそれぞれ高くなっています。一方、「特別栽培農産物」と「GAP 認証農産物」はあらゆる年代で低くなっています。また、20代から40代の年齢層では、5割前後の人が「特に気にしていない」と回答しています。

図表 6-2-2. 「食の安心・安全」について興味のあるもの（年齢別）

	有機農業農産物	特別栽培農産物	GAP 認証農産物	レインボープラン認証農産物	（長井市推奨認証農産物等）	特に気にしていない	その他
20代 [n=40]	27.5%	10.0%	0.0%	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%
30代 [n=41]	29.3%	2.4%	0.0%	22.0%	22.0%	43.9%	2.4%
40代 [n=55]	21.8%	10.9%	5.5%	21.8%	30.9%	54.5%	5.5%
50代 [n=71]	39.4%	12.7%	11.3%	42.3%	26.8%	33.8%	2.8%
60代 [n=93]	39.8%	15.1%	5.4%	31.2%	30.1%	36.6%	0.0%
70代以上 [n=83]	48.2%	16.9%	6.0%	32.5%	36.1%	28.9%	2.4%

【性別】

性別にみると、「レインボープラン認証農産物」で女性が40.3%と高く、男性（19.3%）を21ポイント上回っています。また、男性では「特に気にしていない」（44.1%）が最も高く、「食の安心・安全」への関心は女性が男性よりも高いことがわかります。

図表 6-2-3. 「食の安心・安全」について興味のあるもの（性別）

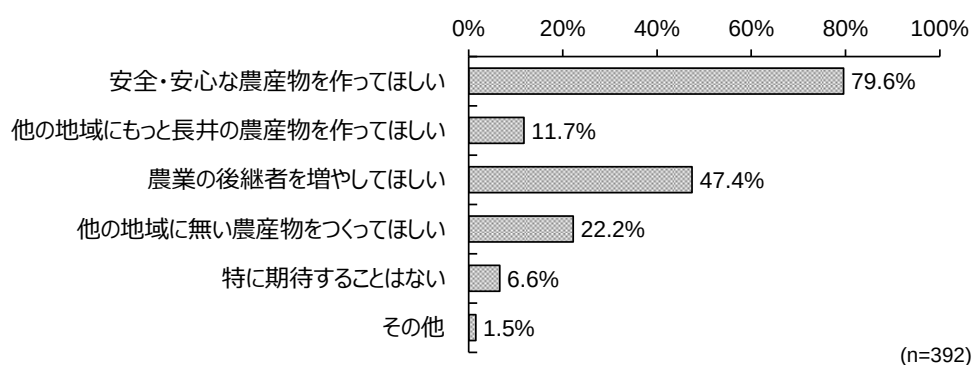
	有機農業農産物	特別栽培農産物	GAP 認証農産物	レインボープラン認証農産物	（長井市推奨認証農産物等）	特に気にしていない	その他
男性 [n=161]	31.1%	15.5%	5.6%	19.3%	29.2%	44.1%	0.6%
女性 [n=211]	41.2%	10.9%	5.2%	40.3%	29.4%	34.6%	3.3%
その他 [n=2]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
回答しない [n=9]	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%

問3. 今後地元の農業に期待することは何ですか。（複数回答：いくつでも）

回答者全体では「安心・安全な農産物を作ってほしい」が79.6%と最も高く、「農業の後継者を増やしてほしい」（47.4%）、「他の地域に無い農産物をつくってほしい」（22.2%）と続きます。一方、「他の地域にもっと長井の農産物を作ってほしい」は11.7%と最も低く、次いで「他の地域に無い農産物を作ってほしい」は22.2%でした。

図表 6-3-1. 今後地元の農業に期待すること

回答項目	回答者数	構成比
安全・安心な農産物を作ってほしい	312	79.6%
他の地域にもっと長井の農産物を作ってほしい	46	11.7%
農業の後継者を増やしてほしい	186	47.4%
他の地域に無い農産物をつくってほしい	87	22.2%
特に期待することはない	26	6.6%
その他	6	1.5%
不 明	8	
合 計	400	



【年齢別】

年齢別にみると、あらゆる年代に渡って「安全・安心な農産物を作ってほしい」が最も高くなっており、50代以上では8割に達しています。また、60代で「農業の後継者を増やしてほしい」が57.0%と、他の年代に比べて高くなっています。

図表 6-3-2. 今後地元の農業に期待すること（年齢別）

	安全・安心な農産物を作ってほしい	他の地域でもっと長い井の農産物を作ってほしい	農業の後継者を増やしてほしい	他の地域に無い農産物をたくさん作ってほしい	特に期待することはない	その他
20代 [n=40]	80.0%	17.5%	45.0%	15.0%	7.5%	2.5%
30代 [n=42]	69.0%	9.5%	42.9%	14.3%	14.3%	4.8%
40代 [n=55]	69.1%	10.9%	43.6%	27.3%	3.6%	1.8%
50代 [n=72]	81.9%	11.1%	43.1%	19.4%	5.6%	1.4%
60代 [n=93]	83.9%	7.5%	57.0%	28.0%	5.4%	0.0%
70代以上 [n=88]	84.1%	15.9%	46.6%	22.7%	6.8%	1.1%

問４．食材を購入するとき重視することは何ですか。あなたのご意見や考えをお聞かせください。

食材を購入するとき重視することについてたずねたところ、53 件の意見が寄せられました。なかでも多くみられたのは「値段」や「品質」を重視するという意見でした。

主な意見は、次のとおりです。

- 新鮮であること、リーズナブルである事、安全である事。
- なるべく国内で生産・加工されたものを買うようにしている。
- 残留農薬など有害物質の有無
- 安心安全を重視します。
- 地物の新鮮な物を利用している。
- 食品の新鮮さ、価格、品質、産地
- 無農薬野菜が買えると嬉しい。
- 安心で安全な食材かも重要だが、やはり一番は値段が安い物を重視している。
- 賞味期限、原産地
- 好物、鮮度、値段、品質、旬
- 遺伝子組み換え
- 減農薬であるか、鮮度
- 地場産のものか、有機栽培か、どんな添加物が使用されているかを重視している。
- 安全な食が豊かであることが、長井市の最大の良さだと思っています。安いことよりも安全を重視して農業従事者を守り、消費者を守ってほしいと思います。
- 産地が海外の原材料で作られている食材は注視している。
- 出来る限り国産の肉や野菜を購入。
- 地元で作られていること。農薬が使われていないもの。
- 鮮度管理がきちんとされているか。

問 5. 普段の食事で地場産物を利用している、または地場産物を利用していない理由について、あなたのご意見や
お考えをお聞かせください。

普段の食事で地場産物を利用している、または地場産物を利用していない理由についてたずねたところ、39 件の意見が寄せられました。

主な意見は、次のとおりです。

- 地場産の消費拡大のため利用している。地元農業の活性化、頑張っ欲しい。
- 価格も他県産より安いならばなおさら買う。
- 地場産物はおいしいのでいつも食べたいけど、割高なので普段使いはむずかしいから、特別な時に食べている。
- 新鮮で質がよく毎日でも利用したいと思う。若い人たちが魅力を感じて農業の仕事に就きたいと思ってもらえるようになればいい。
- 顔の見える生産者・地産地消の循環型サイクルや安心安全による持続可能な地元農業への協力を意識しています。近隣地区でもそのような取り組みは行われ、関心があると足を運びますので、情報発信や他地区との違いや本地区の強みをアピールし、他地区からのリピーターが増えるとよいと思います。
- 進んで地域生産の作物を使用して欲しい。その為にメニューや料理方法を載せる、店舗でも「この方の野菜を使いこの料理を提供しています」など、みんなで協力をするとういのではないかな。
- 日本の農業や産業を守っていききたいのでできるかぎり国産、地元の物を購入したいと考えている。「菜なポート」や道の駅は積極的に活用したい。
- 幼少時代からの地場産物に、安心感があり、慣れ親しんでいる。
- 新鮮で値段も高すぎず美味しいから利用している。
- 値段が安い方を選びます。安全でおいしければ産地は気にしない。危険性があるものや、まずいものなら買わない。
- 特に利用する理由がない。
- 地場産物は安心、安全な気がして利用しているが、季節にもよると思うが、色々な種類の食材を増やしてほしい。
- 旬の物を、新鮮な物をと足を運ぶのですが、どこか県外産の物も多く並んでいて残念。売場を埋めることも大変でしょうが、無理に並べなくても、と思っている。
- 「菜なポート」をよく利用している、不ぞろいや訳あり品大歓迎。「菜なポート」には無い物はスーパーなどで購入している。食品ロスの問題にもっと取り組んでほしい。
- 地場産物は高額である。地場産は新鮮であってほしいが、時には値段が安い品質がよくない為ガッカリな時がある。

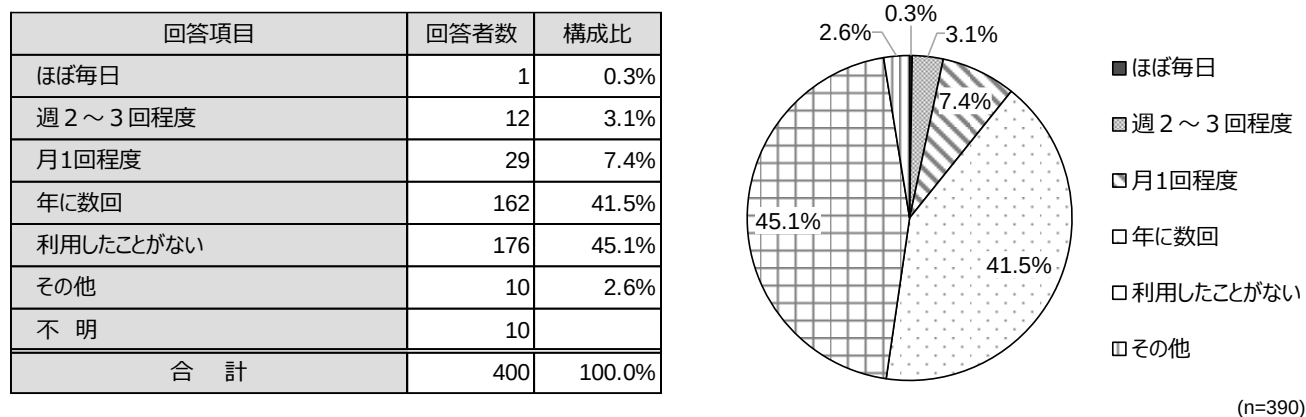
（７） コミュニティセンターを拠点とした地域づくりについて

市内 6 地区の魅力ある発展、生活圏維持のため、コミュニティセンターを拠点とした地域づくりを進めています。

問 1. あなたがコミュニティセンターを利用する頻度を教えてください。

回答者全体では「利用したことがない」が 45.1%と最も高く、「年に数回」(41.5%)が続きます。「ほぼ毎日」、「週 2～3 回」、「月 1 回程度」、「年に数回」を合わせた《利用したことがある》と回答した人は 52.3%で、「利用したことがない」をやや上回っています。

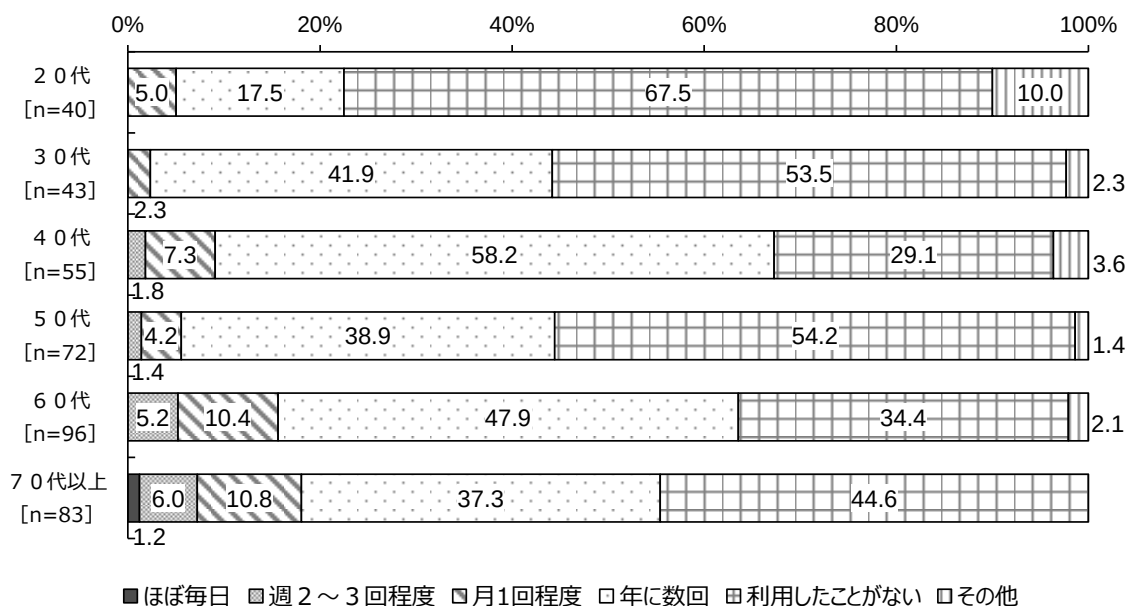
図表 7-1-1. コミュニティセンターの利用頻度



【年齢別】

年齢別にみると、20 代と 30 代の若年層と 50 代では「利用したことがない」が最も高く、過半数を占めています。また、40 代と 60 代では「年に数回」が 5～6 割程度と最も高く、《利用したことがある》と回答した人が「利用したことがない」を上回っています。

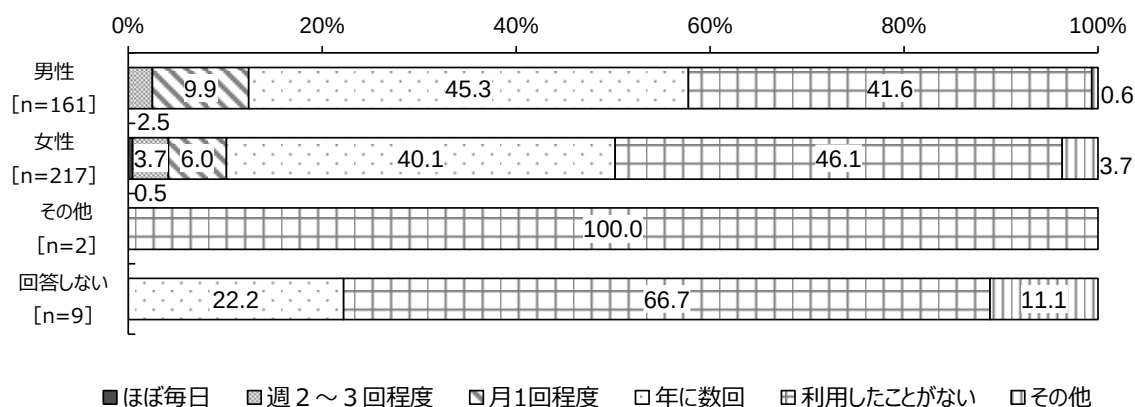
図表 7-1-2. コミュニティセンターの利用頻度（年齢別）



【性別】

性別にみると、《利用したことがある》と回答した人は男性（57.7%）が女性（50.3%）を7.4ポイント上回っています。なお、男性は《利用したことがある》と回答した人が「利用したことがない」を上回っています。

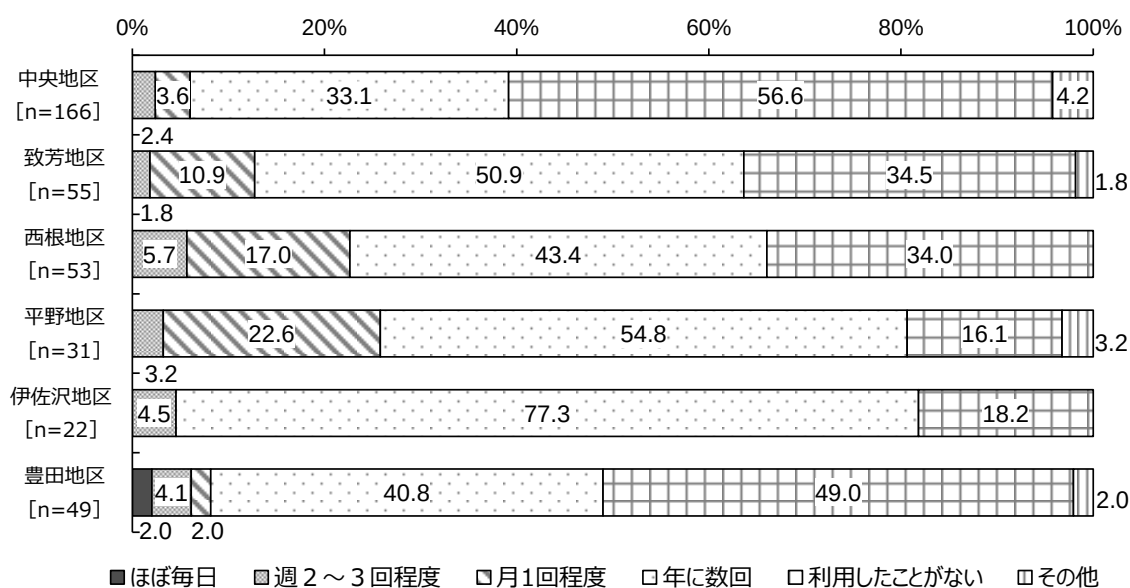
図表 7-1-3. コミュニティセンターの利用頻度（性別）



【居住地区別】

居住地区別にみると、致芳地区、西根地区、平野地区、伊佐沢地区では《利用したことがある》と回答した人が「利用したことがない」を上回っています。なかでも西根地区と平野地区は「月1回程度」（西根地区：17.0% 平野地区22.6%）が他の地区に比べて高くなっています。

図表 7-1-4. コミュニティセンターの利用頻度（居住地区別）

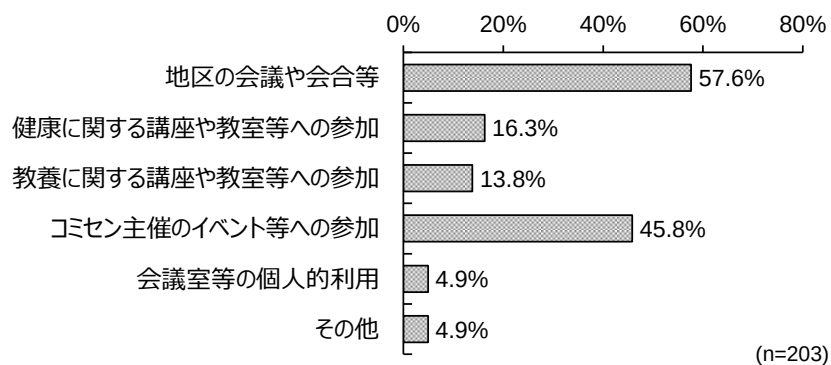


問 2. 問 1 で選択肢 1 ～ 4 を選択した方にお伺いします。あなたがコミュニティセンターを利用する目的は何ですか。
(複数回答：いくつでも)

回答者全体では「地区の会議や会合等」(57.6%) が最も高く、「コミセン主催のイベント等への参加」(45.8%)、「健康に関する講座や教室等への参加」(16.3%) と続きます。一方、「会議室等の個人利用」は 4.9% と最も低く、次いで「教養に関する講座や教室等への参加」は 16.3% です。

図表 7-2-1. コミュニティセンターの利用目的

回答項目	回答者数	構成比
地区の会議や会合等	117	57.6%
健康に関する講座や教室等への参加	33	16.3%
教養に関する講座や教室等への参加	28	13.8%
コミセン主催のイベント等への参加	93	45.8%
会議室等の個人的利用	10	4.9%
その他	10	4.9%
不 明	1	
合 計	204	



【年齢別】

年齢別にみると、「地区の会議や会合等」と「コミセン主催のイベント等への参加」は幅広い年代で高くなっています。また、70代以上では「健康に関する講座や教室等への参加」が37.0%と、他の年代に比べて高くなっています。

図表 7-2-2. コミュニティセンターの利用目的（年齢別）

	地区の会議や会合等	健康に関する講座や教室等への参加	教養等に関する講座や教室等への参加	コミセン主催のイベント等への参加	会議室等の個人的利用	その他
20代 [n=9]	22.2%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	33.3%
30代 [n=19]	47.4%	5.3%	15.8%	47.4%	15.8%	0.0%
40代 [n=37]	62.2%	2.7%	2.7%	54.1%	5.4%	8.1%
50代 [n=32]	71.9%	15.6%	15.6%	31.3%	0.0%	0.0%
60代 [n=60]	60.0%	15.0%	20.0%	45.0%	3.3%	5.0%
70代以上 [n=46]	52.2%	37.0%	13.0%	52.2%	6.5%	2.2%

【性別】

性別にみると、男性では「地区の会議や会合等」が72.0%と最も高く、女性（44.4%）を27.6ポイント上回っています。一方、女性では「コミセン主催のイベント等への参加」が52.8%と最も高く、男性を14.1ポイント上回っており、性別による利用目的の違いがみられます。

図表 7-2-3. コミュニティセンターの利用目的（性別）

	地区の会議や会合等	健康に関する講座や教室等への参加	教養等に関する講座や教室等への参加	コミセン主催のイベント等への参加	会議室等の個人的利用	その他
男性 [n=93]	72.0%	14.0%	10.8%	38.7%	4.3%	4.3%
女性 [n=108]	44.4%	18.5%	16.7%	52.8%	5.6%	5.6%
回答しない [n=2]	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【居住地区別】

居住地区別にみると、「地区の会議や会合等」と「コミセン主催のイベント等への参加」は各地区に共通して高くなっています。また、平野地区では「健康に関する講座や教室等への参加」(28.0%)、中央地区では「教養に関する講座や教室等への参加」(26.2%)が、それぞれ他の地区に比べて高くなっています。

図表 7-2-4. コミュニティセンターの利用目的（居住地区別）

	地区の会議や会合等	健康等に関する講座や教室等への参加	教養等に関する講座や教室等への参加	コミセン主催のイベント等への参加	会議室等の個人的利用	その他
中央地区 [n=65]	46.2%	20.0%	26.2%	30.8%	7.7%	9.2%
致芳地区 [n=35]	60.0%	14.3%	11.4%	48.6%	8.6%	5.7%
西根地区 [n=35]	74.3%	11.4%	8.6%	51.4%	0.0%	0.0%
平野地区 [n=25]	48.0%	28.0%	8.0%	56.0%	4.0%	8.0%
伊佐沢地区 [n=18]	77.8%	11.1%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
豊田地区 [n=23]	52.2%	8.7%	8.7%	65.2%	4.3%	0.0%

問 3. コミュニティセンターの利用頻度を高めるためにどのような施設機能があるとよいですか。あなたのご意見や考えをお聞かせください。

コミュニティセンターの利用頻度を高めるためにどのような施設機能があるとよいかたずねたところ、36 件の意見が寄せられました。なかでも多くみられたのは「軽い運動ができる施設」という意見でした。主な意見は、次のとおりです。

- 駐車場環境が良くないと思う。停めにくい。
- 施設機能というよりバス等の公共交通機関を増やしてほしい。行きたくても車のない者にはもどかしい。
- 少しでも多くの人達が集えるような、文化活動をする人達の常設の文化施設。ふらっと入れて、趣味・アイデア・提案・貴重な体験や意見を見たり聞いたり、情報交換気軽にできる、そんな場所が多くあってほしいと常々思っています。
- 子どもからお年寄りまで利用可能な運動器具があるスポーツジム（無料、低額）
- 何に利用したら良いかわからない。
- 公園、遊具がある。きれいに保たれている。
- 冷房の設備がほしい。
- いろんな販売機を置くなど。
- ネットワーク環境が整っている、卓球など軽い運動など出来ると良いのではないかなと思う。
- カフェがあると立ち寄りやすいと思う。
- ネットで予約が気軽にできる。
- 予約なしでも利用できる施設があるといいと思います。
- クライミングやスケートボードといったオリンピック種目が体験出来る設備
- 温浴施設や軽食施設。週に 1～2 回程度にお医者さんやヘルパーさんにきてもらい、健康相談会や運動を実施。
- 子どもから高齢者まで利用出来るジムのような施設
- コンビニ
- コミュニティセンターの空いている部屋を土、日、祝日に開放しどんな人でも利用できるようにしてほしい。ネットを利用できるようにしてその部屋で勉強したり、お便りを作成したり、ちょっとした集まれる場にできたらいいと思います。
- 教養講座

問 4. コミュニティセンターを拠点として行うサービス（生活支援）は何があるとよいですか。あなたのご意見や考えをお聞かせください。

コミュニティセンターを拠点として行うサービス（生活支援）は何があるとよいかたずねたところ、17件の意見が寄せられました。なかでも多くみられたのは「高齢者への生活支援」（配食、除雪等）という意見でした。

主な意見は、次のとおりです。

- ご当地観光案内窓口、県内外の来訪者への情報提供。役所への届け出書類、手続き書類の対応窓口、各証明書類の発行窓口（戸籍謄本・抄本類除く）。銀行 ATM のようにカード利用で発行してもらえるようなシステム。
- バス（移動手段）、食事、高齢者や児童のデイサービス、食品や生活必需品の販売
- 子ども服や、もらい物などを必要な人に必要な分だけリユースできる場所になれば良いかと。
- 冬期の高齢者宅の雪下ろし、家のまわりの排雪の支援の充実
- 長井市にしかない物、他の市町村や県外からも注目されるような独自性が必要だと感じます。
- 生活に必要な物品・食品の買物やゴミ投げ、冬の雪かき、病院への通院等たくさんあります。
- スマホが不慣れで、市で行っているデジタル系がわからず。今後必要な分野の使い方の説明会
- 仕事探しなど
- 高齢家庭の見守りや買い物援助・配達
- 子育てママさん対象の懇親会や講話・婚活サポート・地域企業との連携による会社紹介・移住希望者サポート・就農支援
- 子ども食堂

（８） 文化について

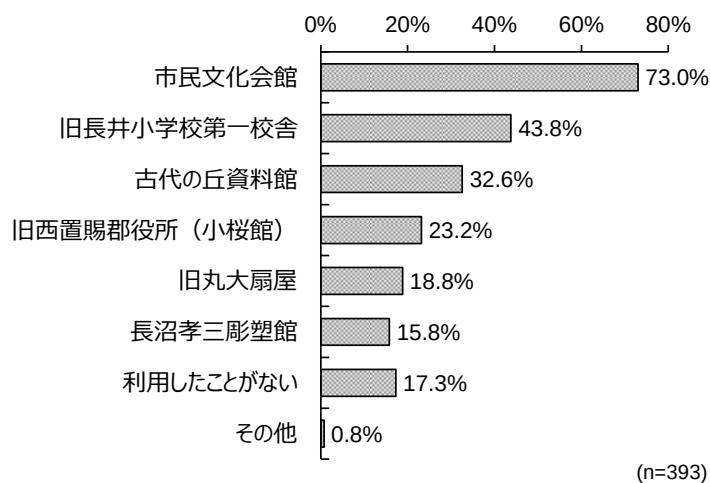
市の文化財（重要文化的景観を含む。）の活用と市民文化会館、文教の杜、古代の丘資料館等の文化施設の利用促進を図り、観光と連携した交流人口の拡大を推進しています。

問１．あなたが利用している、利用したことのある文化施設は何ですか。（複数回答：いくつでも）

回答者全体では「市民文化会館」（73.0%）が最も高く、「旧長井小学校第一校舎」（43.8%）、「古代の丘資料館」（32.6%）と続きます。一方、「長沼孝三彫塑館」は15.8%と最も低く、「旧丸大扇屋」（18.8%）、「旧西置賜郡役所（小桜館）」（23.2%）と続きます。「利用したことがない」は17.3%です。

図表 8-1-1. 利用したことのある文化施設

回答項目	回答者数	構成比
市民文化会館	287	73.0%
旧長井小学校第一校舎	172	43.8%
古代の丘資料館	128	32.6%
旧西置賜郡役所（小桜館）	91	23.2%
旧丸大扇屋	74	18.8%
長沼孝三彫塑館	62	15.8%
利用したことがない	68	17.3%
その他	3	0.8%
不 明	7	
合 計	400	



【年齢別】

年齢別にみると、「市民文化会館」は幅広い年代で7～8割前後と最も高くなっています。また、20代では「旧長井小学校第一校舎」、60代以上の高齢層では「旧西置賜郡役所（小桜館）」、「旧丸大扇屋」が他の年代に比べて高くなっています。

図表 8-1-2. 利用したことのある文化施設（年齢別）

	市民文化会館	旧長井小学校第一校舎	古代の丘資料館	（旧西置賜郡役所）小桜館	旧丸大扇屋	長沼孝三彫塑館	ない利用したことが	その他
20代 [n=40]	65.0%	60.0%	37.5%	17.5%	15.0%	15.0%	20.0%	0.0%
30代 [n=43]	65.1%	48.8%	30.2%	9.3%	11.6%	9.3%	23.3%	0.0%
40代 [n=55]	78.2%	43.6%	36.4%	21.8%	12.7%	7.3%	10.9%	0.0%
50代 [n=72]	72.2%	40.3%	33.3%	18.1%	16.7%	18.1%	19.4%	0.0%
60代 [n=96]	80.2%	42.7%	30.2%	29.2%	21.9%	14.6%	14.6%	1.0%
70代以上 [n=85]	69.4%	37.6%	30.6%	30.6%	27.1%	24.7%	18.8%	2.4%

【性別】

性別にみると、男性・女性ともに「市民文化会館」（男性：68.7% 女性：76.2%）は7割前後と高くなっています。また、ほとんどの項目で女性が男性を上回っています。

図表 8-1-3. 利用したことのある文化施設（性別）

	市民文化会館	旧長井小学校第一校舎	古代の丘資料館	（旧西置賜郡役所）小桜館	旧丸大扇屋	長沼孝三彫塑館	ない利用したことが	その他
男性 [n=166]	68.7%	39.8%	27.7%	20.5%	17.5%	18.1%	22.3%	0.0%
女性 [n=214]	76.2%	45.8%	35.5%	26.2%	21.0%	15.0%	14.0%	1.4%
その他 [n=2]	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答しない [n=9]	77.8%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%

【居住地区別】

居住地区別にみると、「市民文化会館」は各地区に共通して高くなっています。また、中央地区では「旧長井小学校第一校舎」（57.2%）と「旧西置賜郡役所（小桜館）」（33.1%）が、西根地区では「古代の丘資料館」（48.2%）がそれぞれほかの地区に比べて高くなっています。

図表 8-1-4. 利用したことのある文化施設（居住地区別）

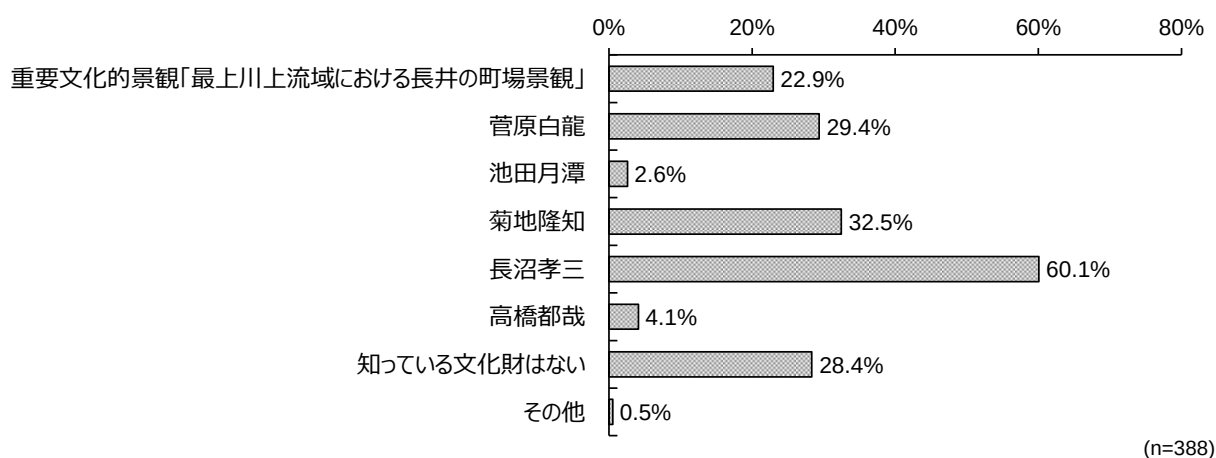
	市民文化会館	旧長井小学校第一校舎	古代の丘資料館	（旧西置賜郡役所）小桜館	旧丸大扇屋	長沼孝三彫塑館	ない利用したことが	その他
中央地区 [n=166]	71.1%	57.2%	35.5%	33.1%	27.1%	21.7%	18.7%	0.6%
致芳地区 [n=54]	68.5%	38.9%	27.8%	14.8%	16.7%	9.3%	16.7%	0.0%
西根地区 [n=56]	69.6%	26.8%	48.2%	16.1%	10.7%	7.1%	21.4%	3.6%
平野地区 [n=31]	90.3%	32.3%	22.6%	25.8%	9.7%	16.1%	6.5%	0.0%
伊佐沢地区 [n=21]	85.7%	38.1%	19.0%	19.0%	23.8%	19.0%	9.5%	0.0%
豊田地区 [n=50]	78.0%	34.0%	26.0%	12.0%	12.0%	16.0%	16.0%	0.0%

問2. あなたが知っている文化財（作者）は何ですか。（複数回答：いくつでも）

回答者全体では「長沼孝三」（60.1％）が最も高く、「菊地隆知」（32.5％）、「菅原白龍」（29.4％）と続きます。一方、「池田月潭」は2.6％と最も低く、「高橋都哉」（4.1％）、「重要文化的景観『最上川流域における長井の町場景観』」（22.9％）と続きます。「知っている文化財はない」は28.4％です。

図表 8-2-1. 知っている文化財／作者

回答項目	回答者数	構成比
重要文化的景観「最上川上流域における長井の町場景観」	89	22.9%
菅原白龍	114	29.4%
池田月潭	10	2.6%
菊地隆知	126	32.5%
長沼孝三	233	60.1%
高橋都哉	16	4.1%
知っている文化財はない	110	28.4%
その他	2	0.5%
不 明	12	
合 計	400	



【年齢別】

年齢別にみると、「長沼孝三」は幅広い年代で高く、50代以上では7割前後となっています。また、文化財（作者）については若年層よりも高齢層でよく知られており、「菅原白龍」や「菊地隆知」は60代以上の高齢層で高くなっています。一方、20代から40代では「知っている文化財はない」が5割前後と、高くなっています。

図表 8-2-2. 知っている文化財／作者（年齢別）

	場 上 重 景 流 要 観 域 文 」 に 化 お 的 け 景 る 観 長 「 井 最 の 上 町 川	菅 原 白 龍	池 田 月 潭	菊 地 隆 知	長 沼 孝 三	高 橋 都 哉	知 っ て い る 文 化 財 は な い	そ の 他
20代 [n=40]	12.5%	15.0%	0.0%	7.5%	47.5%	0.0%	42.5%	0.0%
30代 [n=43]	14.0%	11.6%	0.0%	9.3%	30.2%	2.3%	55.8%	0.0%
40代 [n=55]	20.0%	16.4%	1.8%	10.9%	41.8%	0.0%	43.6%	0.0%
50代 [n=71]	18.3%	18.3%	0.0%	31.0%	69.0%	2.8%	22.5%	0.0%
60代 [n=94]	29.8%	43.6%	3.2%	42.6%	69.1%	5.3%	20.2%	0.0%
70代以上 [n=84]	31.0%	47.6%	7.1%	60.7%	76.2%	9.5%	10.7%	2.4%

問３．文化財の活用、文化施設の活用促進、観光との連携についてあなたのご意見やお考えをお聞かせください。

文化財の活用、文化施設の活用促進、観光との連携についてたずねたところ、17 件の意見が寄せられました。

主な意見は、次のとおりです。

- もっと長井市民文化会館で行うようなイベントを開催してほしい。例えば 2017 年夏の吉本の営業とか、2022 年年始の純烈のコンサートみたいに。
- 黒獅子の歴史についてのオンラインセミナーや黒獅子製作体験会などを行い、黒獅子に興味をもつ人を増やして、昔からの伝統を絶やさないようにしてほしい。
- 何が目玉となる文化財なのか示して欲しい。インスタ映えするような場所を示して欲しい。文化財になるような物をドンドン発掘し、そして創り、広報してもらいたい。古い物だけが文化財ではないと思います。芸術家をもっと活用すべきだと思います。
- 地区の活動をより活発なものにし、地域活動から徐々に広げていく。ソフト面からそれこそ、文化財や施設を使うことを文化にすべき。ハード面だけそろえても使う人がいなければムダ。保存する必要ないし、福祉などに財源を渡した方が良い。第一に仕組みづくり。
- 長井市の物がおいしいと考えた時、それを大切に続けていってほしいと思います。
- まちあるき（散歩）をしながら、健康管理ができるよう、歩道の整備、コースの設定、距離の表示等々、市内外の人にわかりやすく、楽しめるような、まちづくりをしてほしい。
- 過去に実施されていたフィールドワークや街歩きイベントが参加して楽しかった。
- 観光に力を入れているものの、それ程集客の効果は得られないと思う（立地や知名度といった面で周辺の市に劣ってしまう為）。そこに費やす財政の方が心配になる。費やした以上の利益があれば良いが。
- 長井市民が誇りに思う文化財を未来の子供達に伝えようと知恵を絞れば、活性化する。
- シェルターなんようホールのような、魅力のあるコンサートなどのイベントを企画して、観光に結びつける。
- 三淵溪谷のボートは素晴らしいのでもっと P R すべき。
- 今の取り組みの具体が何かがわからない。
- 他県から人を呼び込む戦略を考えたいが、長井市の他市とは異なる目玉となるものがパッと浮かばない。ケン玉か。文化財、食材、観光と結びついた誘致計画が必要だと考えるが。